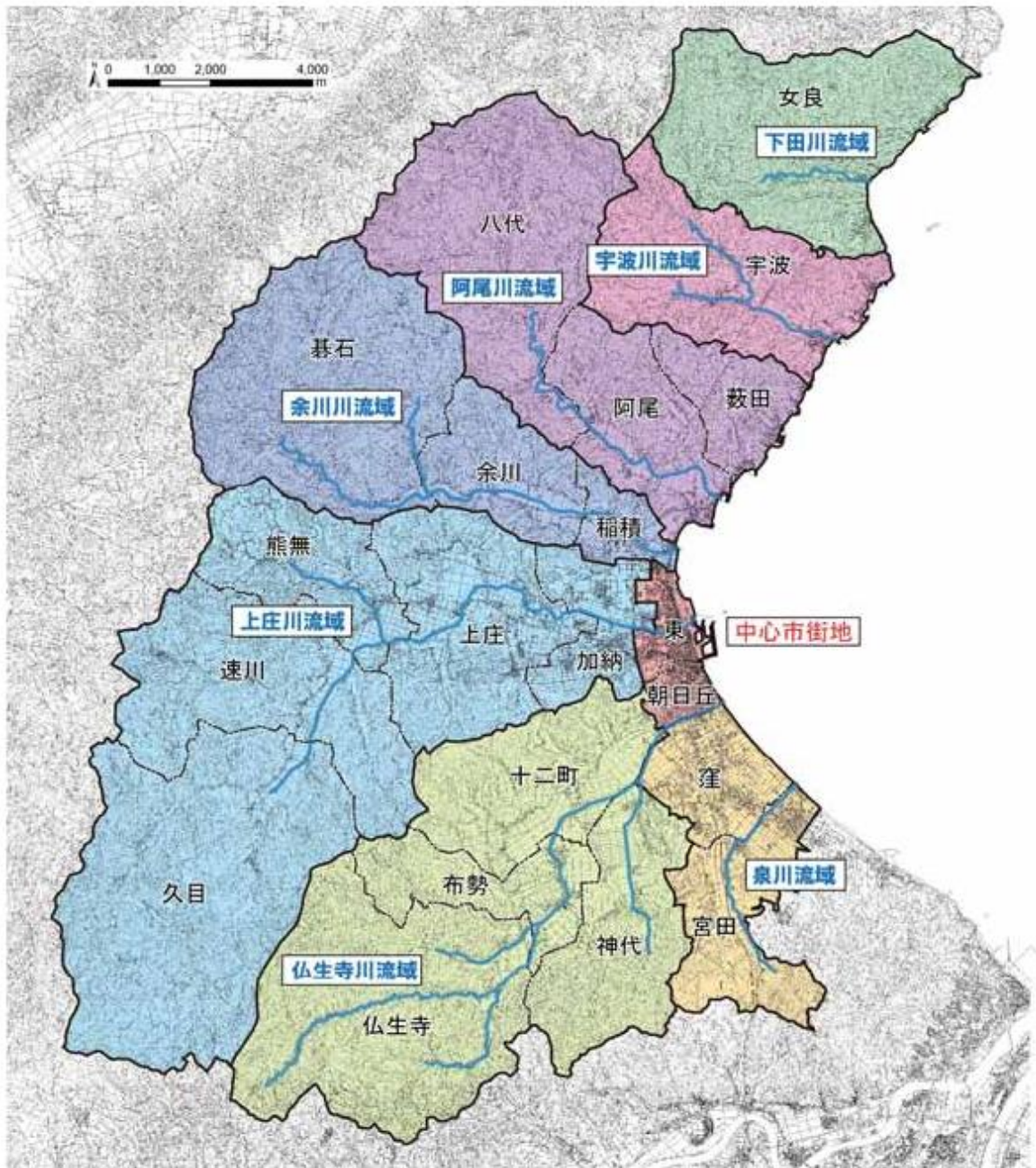


1. 現状の整理

1-1 地域概況の整理

(1) 地区区分

- ・市域は、7つの流域に広がる集落と、商業、医療、福祉、文化、公共施設等の様々な都市機能が集積した中心市街地から構成され、流域ごとに生活圏が形成されています。
- ・本市は、現在の21地区の母体となる旧町村が合併し、一つの市となったことから、自治会や地区社会福祉協議会等の地区組織が設置されています。



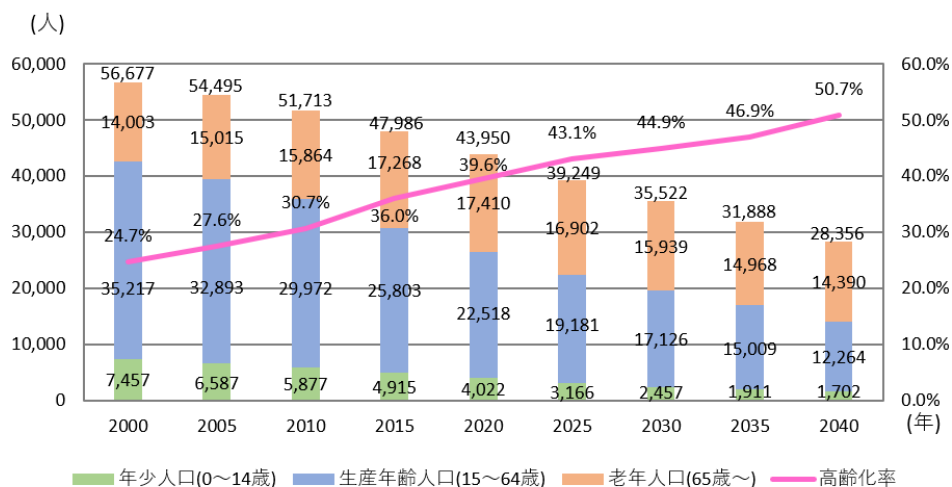
出典：氷見市都市計画マスタープラン（2019年3月）

図 地区区分

(2) 人口

(ア) 人口・世帯の推移及び見通し

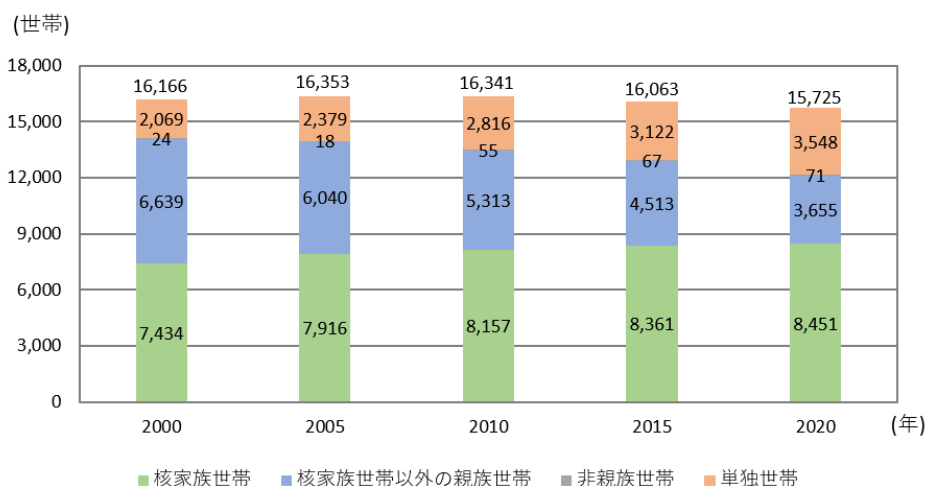
- ・氷見市の総人口は減少傾向にあります。2020年の総人口は43,950人で、2000年と比較して12,727人（約22.5%）の減少となっています。
- ・世帯数についても同様に減少傾向がありますが、一方で核家族世帯及び単独世帯は増加傾向にあります。
- ・人口の減少は今後も続くと予想されており、氷見市独自の推計では、2040年には15,594人（約35.5%）の減少が予測されています。
- ・総人口の減少に伴い、高齢人口（65歳以上）も減少傾向がありますが、高齢化率は2020年：39.6%⇒2040年：50.7%に増加する見込みであり、総人口の約半数が高齢者になると予測されています。



※2025年以降は氷見市独自の推計に基づく（区分不詳含む）

出典：国勢調査（2020年）

図 総人口・年齢3区分人口の推移



※家族類型不詳は含まない

出典：国勢調査（2020年）

図 世帯数の推移

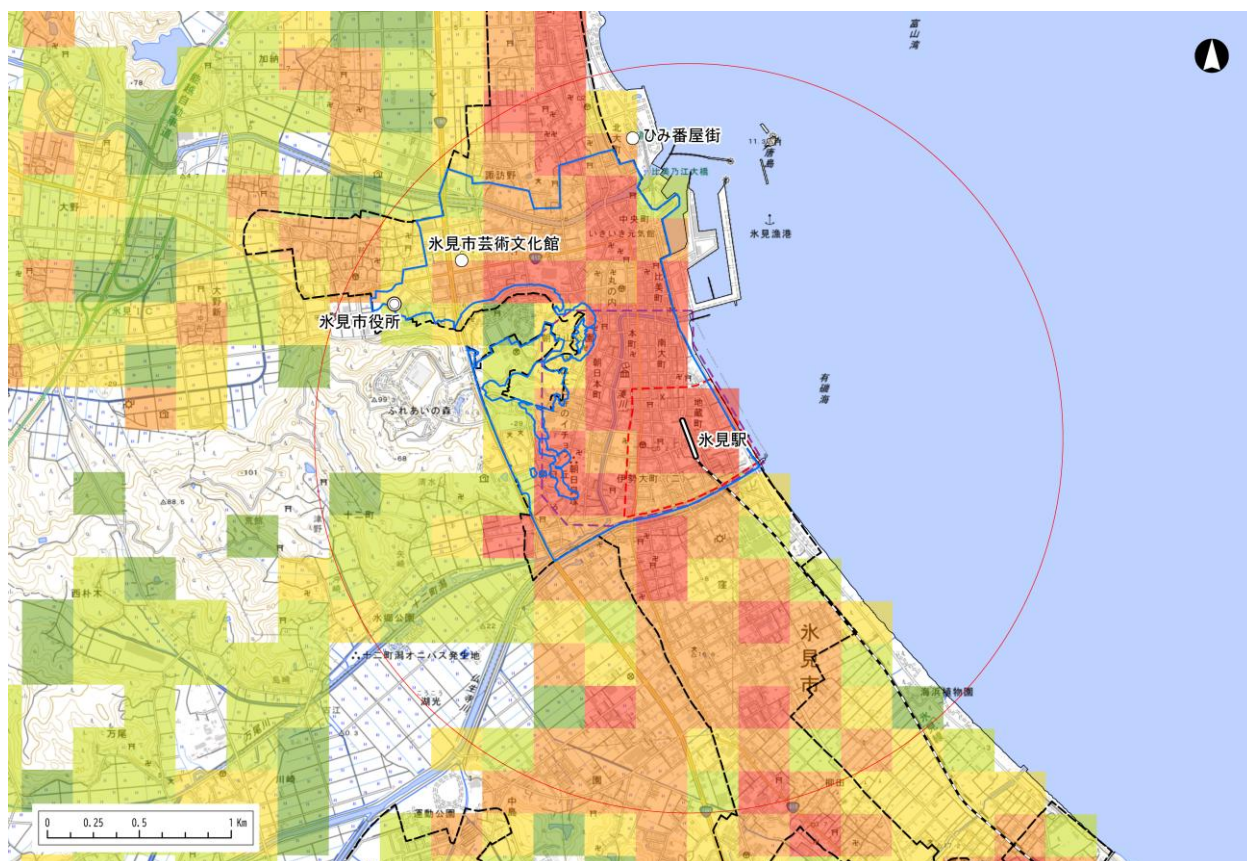
(イ) 人口分布

【氷見駅 2 km圏内】

- ・人口の多くは中心市街地の東地区や朝日丘地区に集中しており、特に都市機能誘導区域内においてその傾向が顕著です。
- ・特に、老年人口（65 歳以上）の分布が都市機能誘導区域内に集中しています。

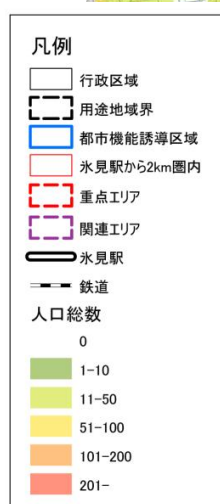
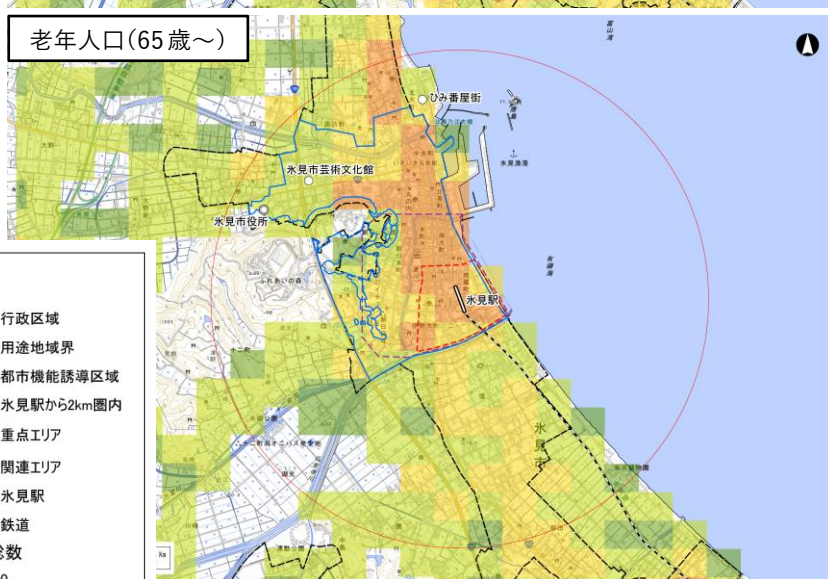
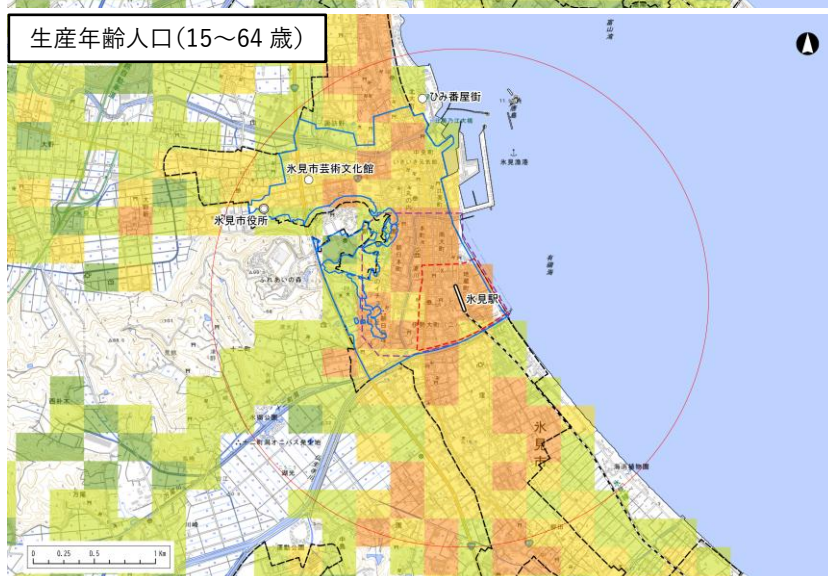
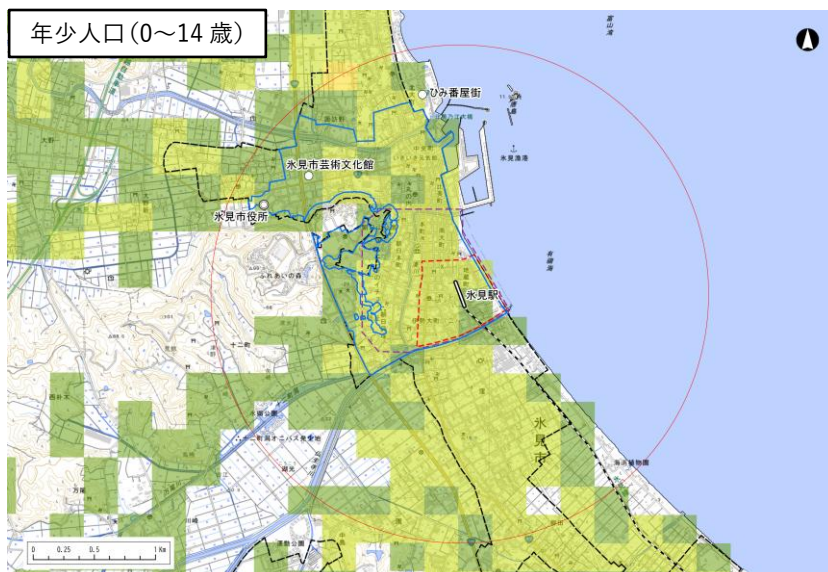
【対象エリア】

- ・都市機能誘導区域内でも、対象エリアは特に人口の集中が顕著です。
- ・生産年齢人口（15～64 歳）や老年人口の割合が高くなっています。



出典：国勢調査（2020 年）

図 人口分布（上：氷見駅 2km 圏内、下：対象エリア）



出典：国勢調査（2020 年）

図 人口分布（年齢3区分別）

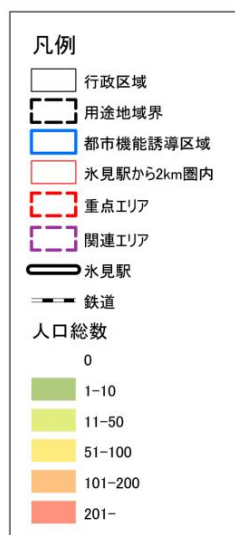
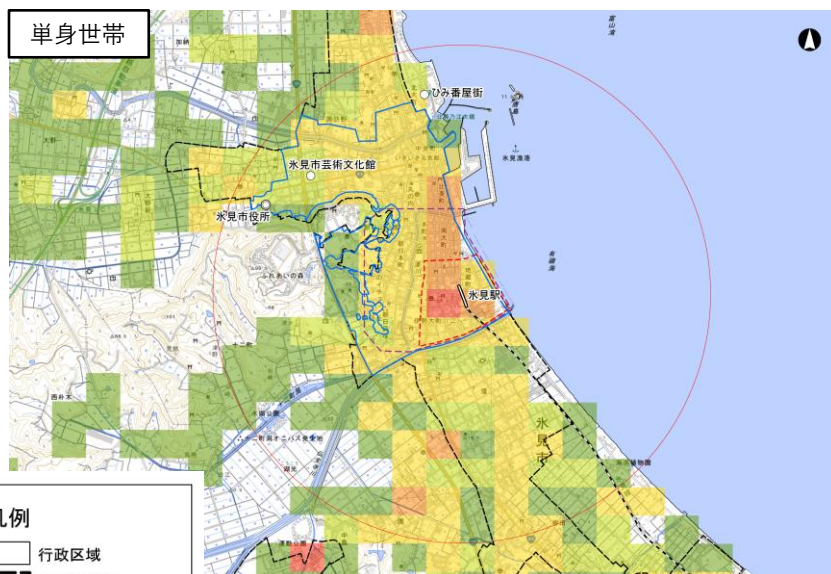
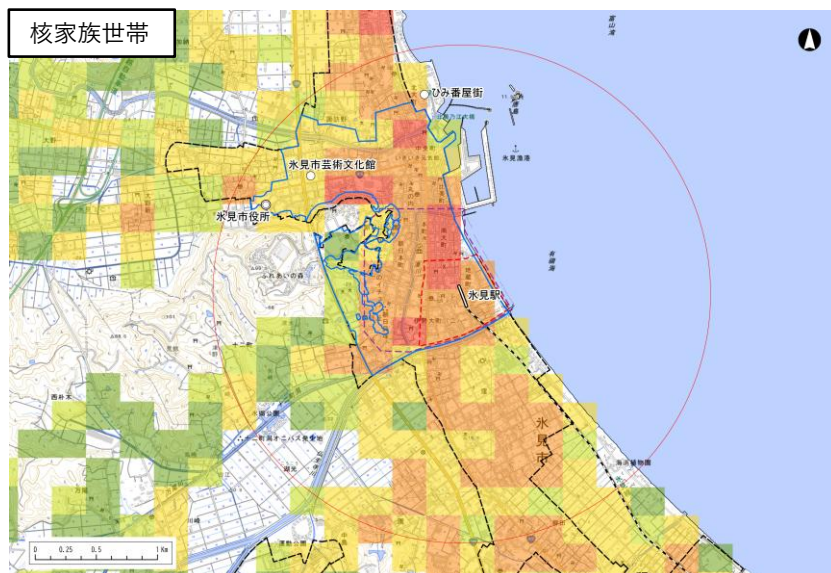
(ウ) 世帯分布

【氷見駅 2km 圏内】

- ・核家族世帯および単身世帯のどちらも氷見駅から 2km 圏内に集中している傾向にありますが、核家族世帯は分布がより広範囲になっています。

【対象エリア】

- ・核家族世帯の割合が高くなっています。

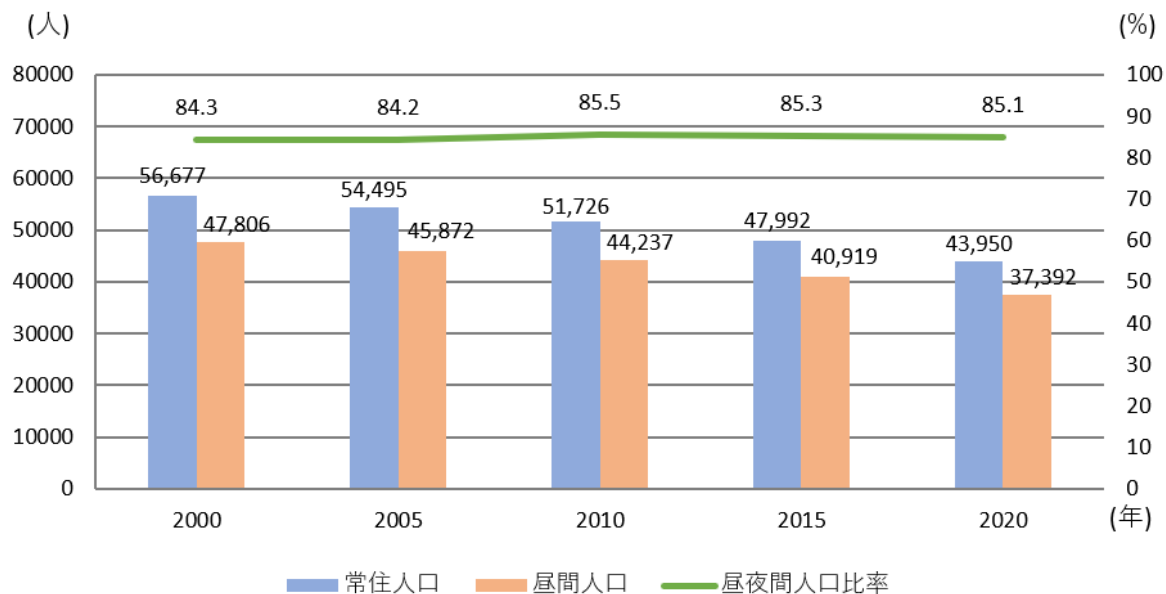


出典：国勢調査（2020 年）

図 世帯類型分布（上：核家族世帯、下：単身世帯）

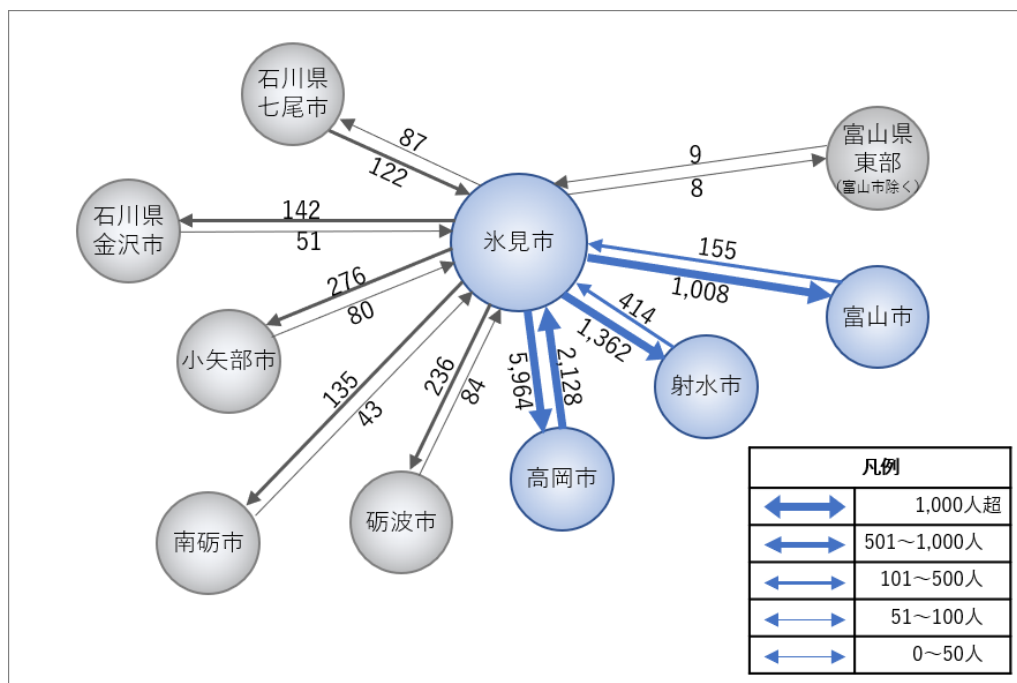
(エ) 昼夜間人口比率と通勤・通学による市町村間の移動

- ・氷見市の昼夜間人口比率は、85%前後で横ばいとなっています。
- ・通勤・通学に伴う移動は、流入・流出ともに高岡市が最も多く、次いで射水市、富山市となっています。



出典：国勢調査（2020 年）

図 氷見市の常住人口・昼間人口・昼夜間人口比率



出典：国勢調査（2020 年）

図 通勤・通学による市町村間の移動

(3) 土地利用の現状及び方向性

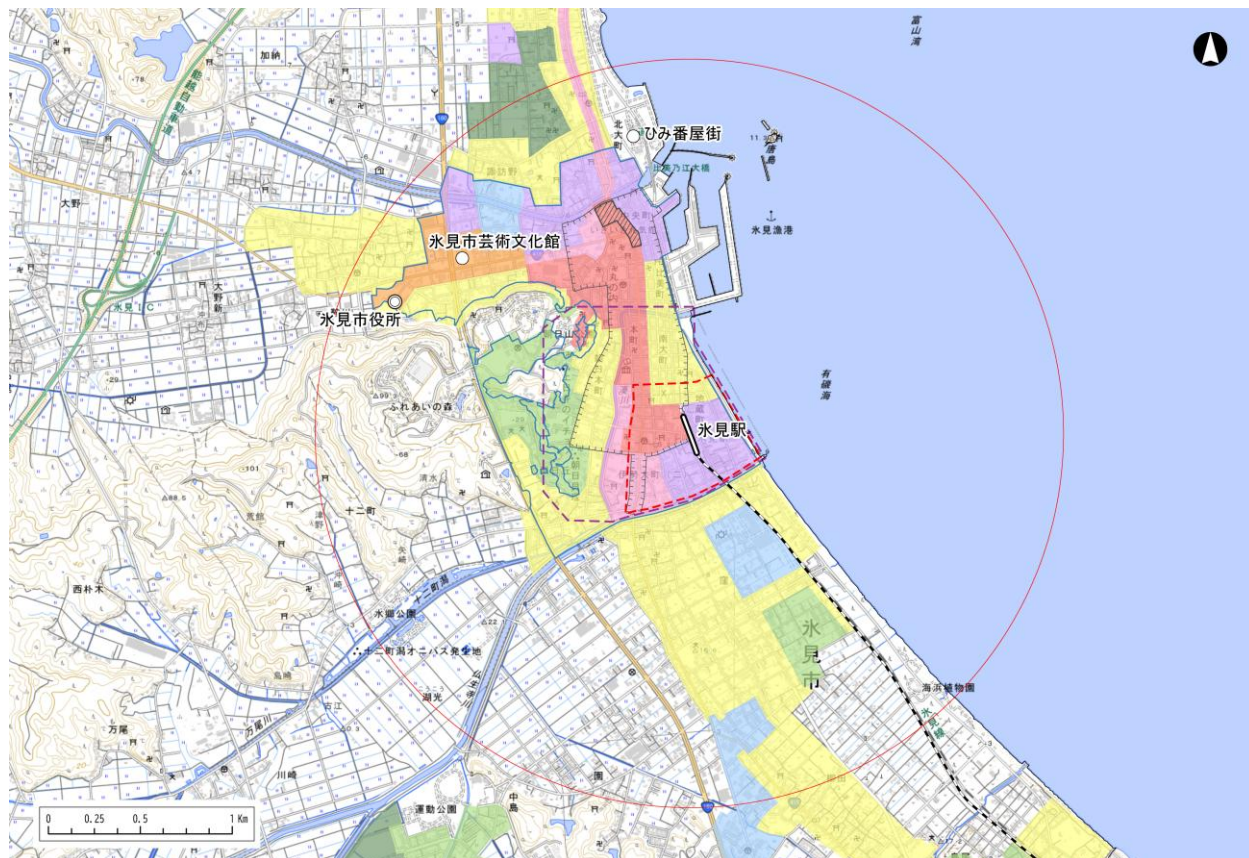
(ア) 都市計画法等に基づく規制状況

【氷見駅 2 km圏内】

- ・用途地域内には都市機能誘導区域に指定されている地域があります。
- ・北側には、防火地域・準防火地域に指定されている地域があります。

【対象エリア】

- ・住居地域や商業地域、準工業地域等の用途地域が広がっています。



凡例	
	行政区域
	都市機能誘導区域
	防火地域
	準防火地域
	氷見駅から2km圏内
	重点エリア
	関連エリア
	氷見駅
	鉄道
用途	
	第1種低層住居専用地域
	第1種中高層住居専用地域
	第1種住居地域
	準住居地域
	近隣商業地域
	商業地域
	準工業地域
	工業地域
	工業専用地域

出典：国土数値情報

図 都市計画法等に基づく規制状況（上：氷見駅 2km 圏内、下：対象エリア）

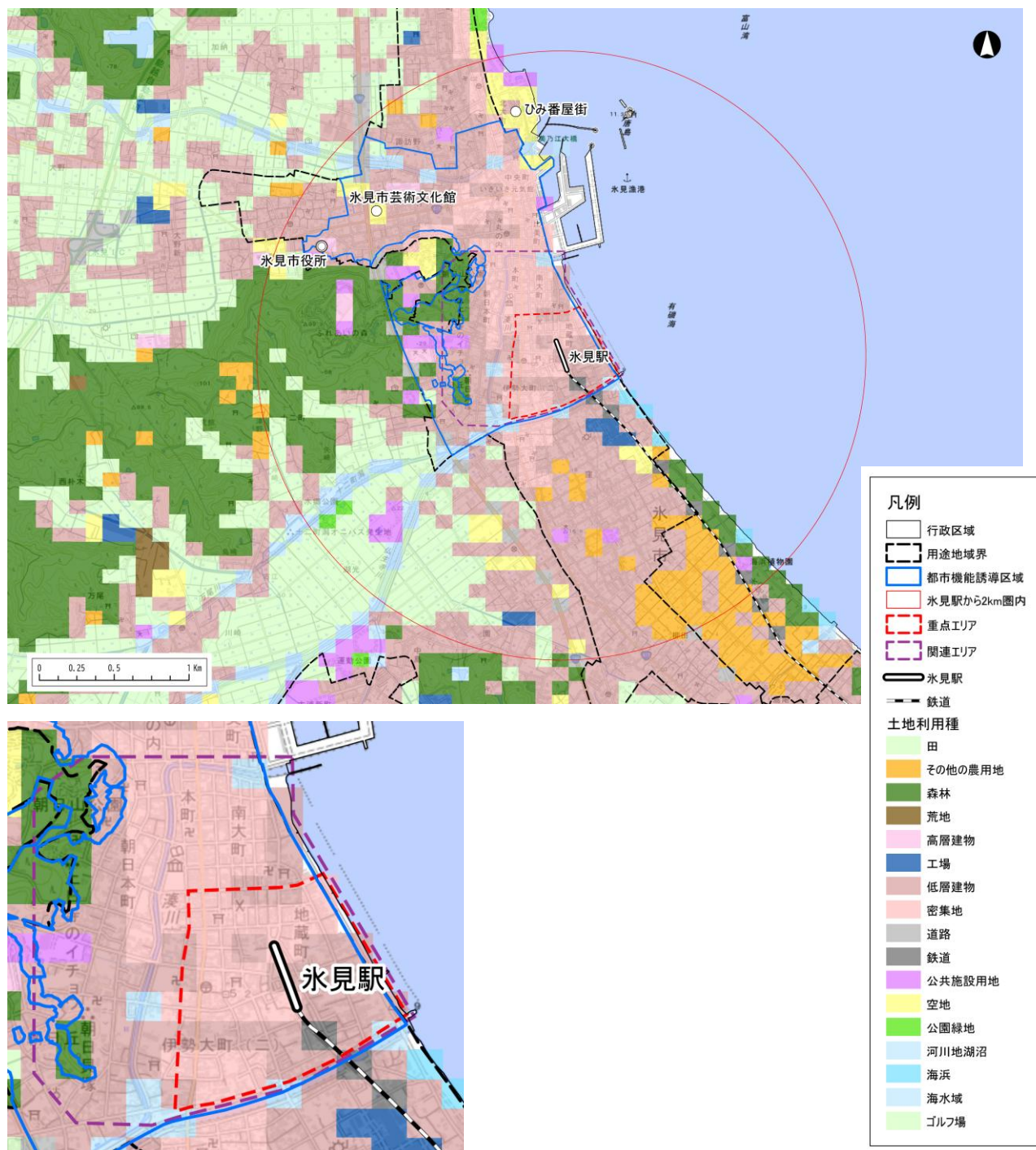
(イ) 土地利用

【氷見駅 2 km圏内】

- ・密集地や低層建物等の建物用地のほか、仏生寺川以南には海岸沿いに森林やその他の農用地（畑等）が分布しています。

【対象エリア】

- ・密集地や低層建物等の建物用地が大半を占め、住宅や商店等の施設が集積しています。



出典：国土数値情報

図 土地利用（上：氷見駅 2km 圏内、下：対象エリア）

(ウ) 公園・緑地の分布

【氷見駅 2 km圏内】

- ・身近な公園・緑地として、十二町湯水郷公園（地区公園）、比較的小規模な街区公園や都市緑地等が点在しています。
- ・拠点的な公園・緑地として、ふれあいの森（総合公園）が整備されています。

【対象エリア】

- ・拠点的な公園・緑地として、朝日山公園（総合公園）や、駅北緑地（街区公園）が整備されています。



出典：氷見市 HP

図 公園・緑地の分布（上：氷見駅 2km 圏内、下：対象エリア）

(4) 駅周辺における主要施設の立地状況

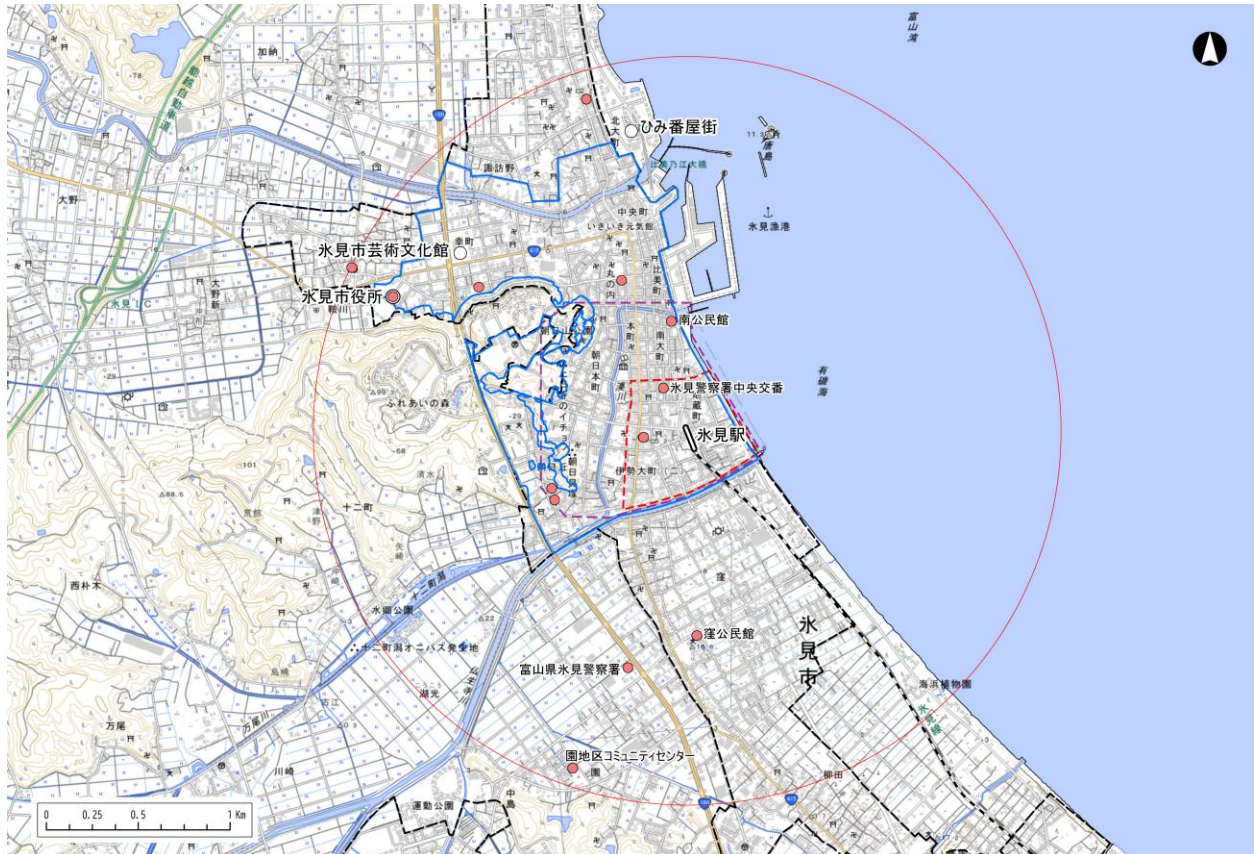
(ア) 公共施設

【氷見駅 2 km 圏内】

- ・ 公民館のほか、市役所や警察署等が立地しています。

【対象エリア】

- ・ 公民館や氷見警察署中央交番等の公共施設が立地しています。
- ・ 公民館では、地域住民が集う各種講座やイベントが開催されています。



出典：国土数値情報

図 主要施設の立地状況（公共施設）（上：氷見駅 2km 圏内、下：対象エリア）

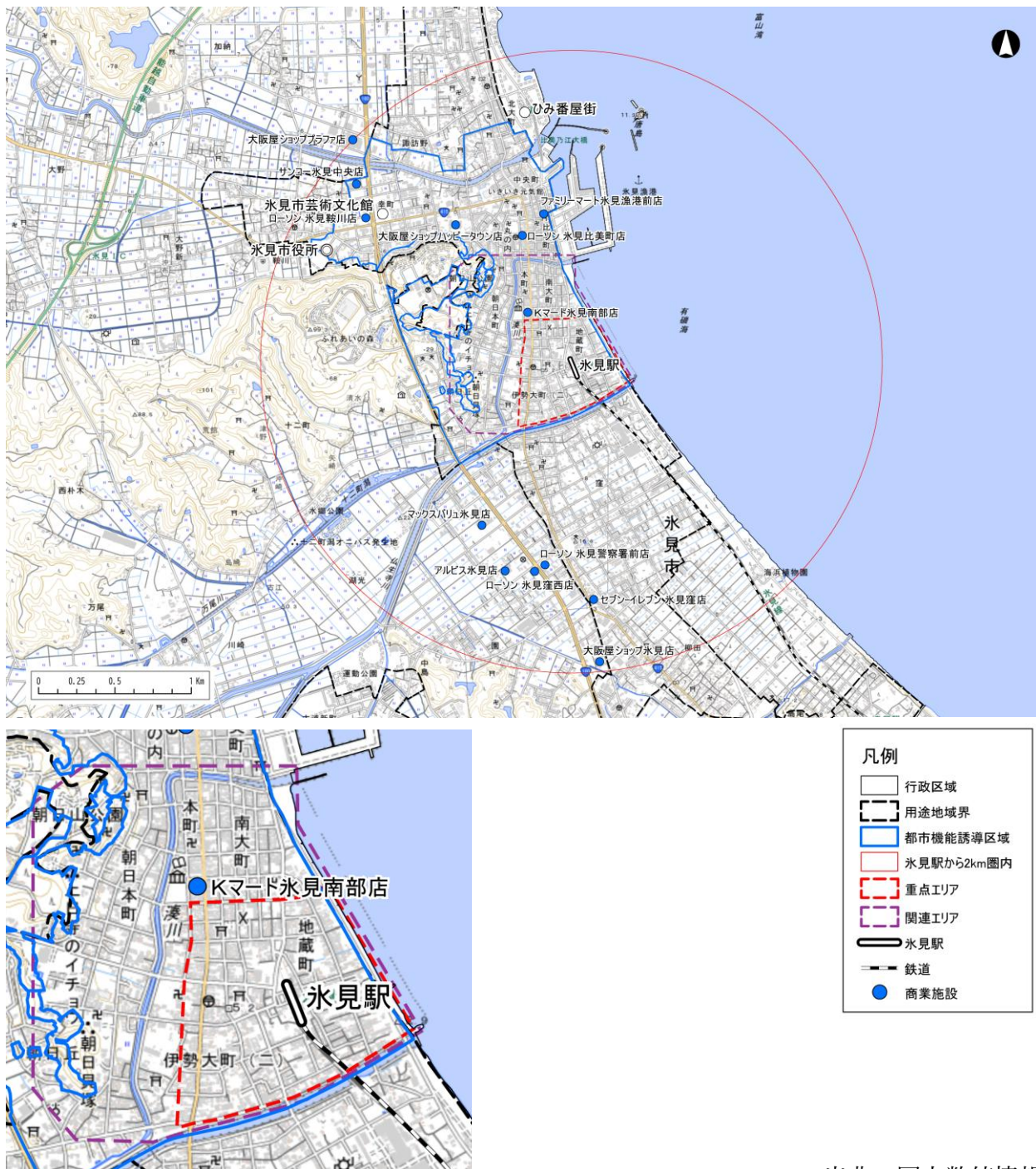
(イ) 商業施設

【氷見駅 2 km圏内】

- ・氷見市芸術文化館や氷見漁港の周辺に、スーパーやコンビニエンスストア等が集積しています。
- ・都市機能誘導区域外では、仏生寺川以南の国道沿いに商業施設が集積しています。

【対象エリア】

- ・商業施設はスーパーマーケット 1 店舗のみとなっています。



出典：国土数値情報

図 主要施設の立地状況（商業施設）（上：氷見駅 2km 圏内、下：対象エリア）

(ウ) 文教施設

【氷見駅 2 km圏内】

- ・ 小中学校や富山県立氷見高等学校、氷見市芸術文化館の文教施設が立地しています。
- ・ 氷見市芸術文化館は芸術文化活動の拠点施設として整備され、学習教養講座やイベント等が開催されています。

【対象エリア】

- ・ 氷見市教育文化センター内に氷見市立博物館や氷見市立図書館等の文教施設が立地しています。



出典：国土数値情報

図 主要施設の立地状況（文教施設）（上：氷見駅 2km 圏内、下：対象エリア）

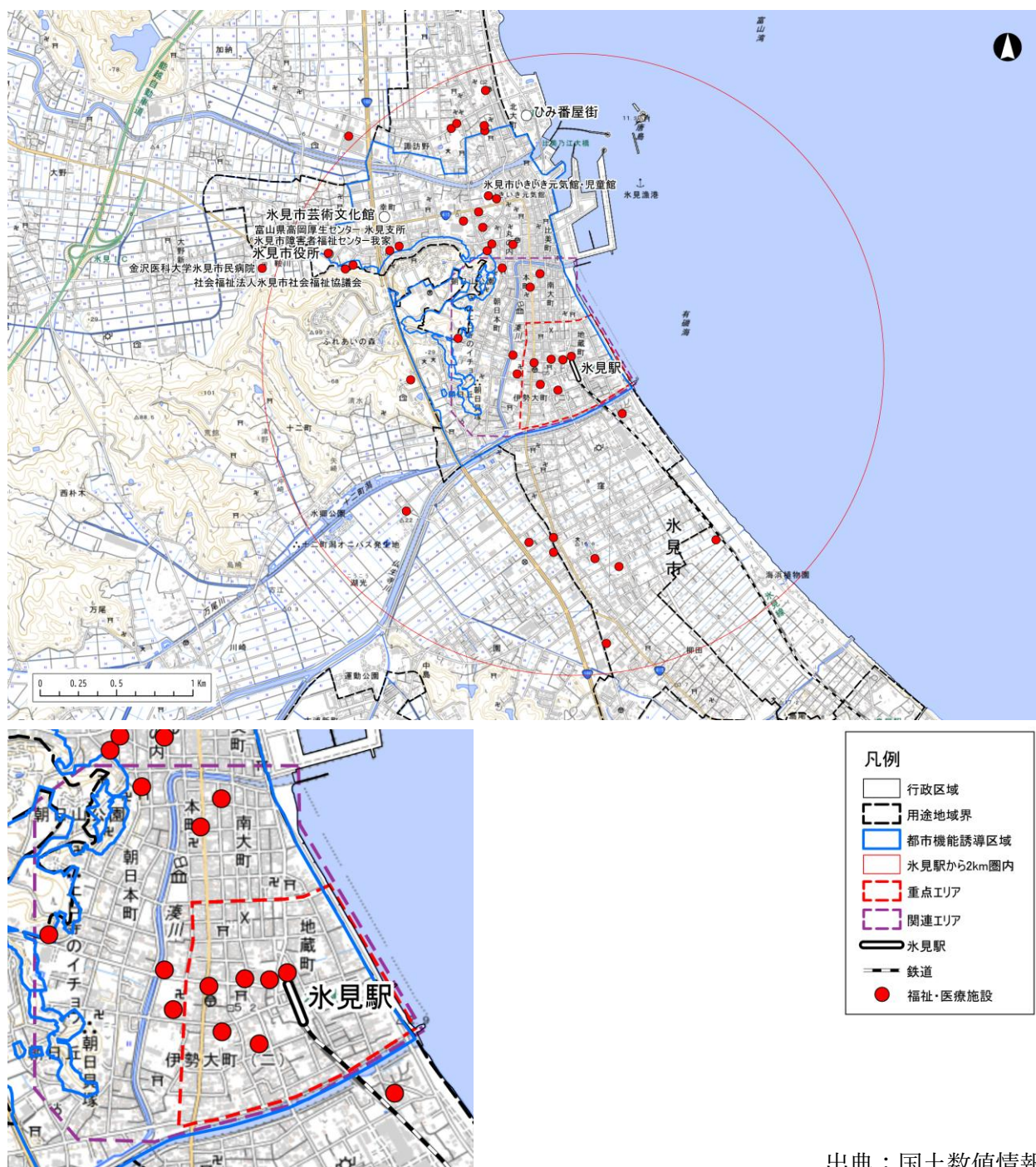
(エ) 福祉・医療施設

【氷見駅 2 km圏内】

- ・駅北側に地域の中核病院である金沢医科大学氷見市民病院や、市内医療機関が集積しています。
- ・氷見市役所内には地域包括支援センターが設置されており、高齢者の総合相談窓口として利用されています。

【対象エリア】

- ・病院・診療所等の福祉・医療施設が立地しています。



出典：国土数値情報

図 主要施設の立地状況（福祉・医療施設）（上：氷見駅 2km 圏内、下：対象エリア）

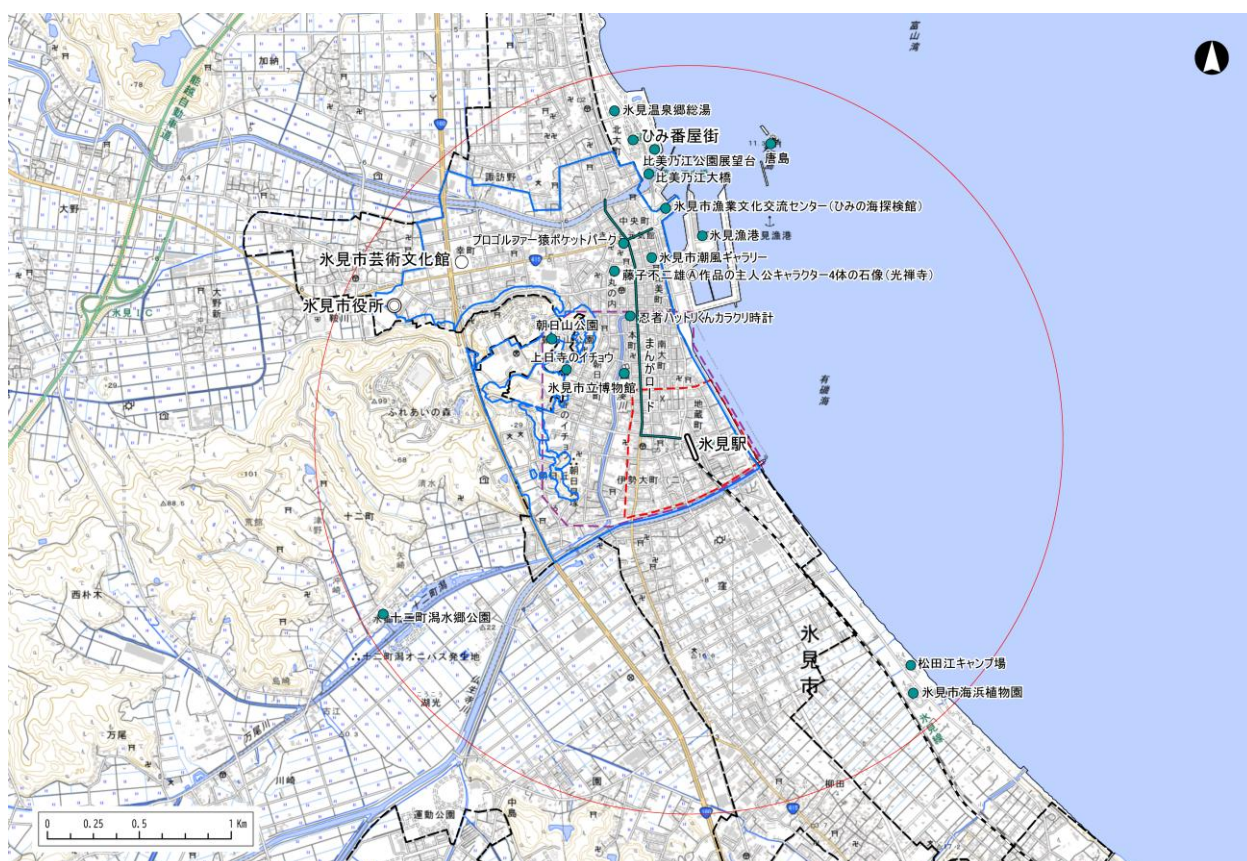
(オ) 観光施設

【氷見駅 2 km圏内】

- ・駅北側の富山湾に隣接する地域に、ひみ番屋街や氷見漁港等、氷見の漁業文化を活かした観光施設が集積しています。
- ・ひみ番屋街内には、観光情報センターが設置されています。
- ・本市の三大祭礼「まるまげ祭り」「唐島大祭」「氷見祇園祭」や「ひみまつり」、冬の風物詩であるひみ寒ぶりを満喫できるイベント等も開催されています。

【対象エリア】

- ・「まんがロード」と呼ばれる商店街通りが整備されています。周辺には、本市出身の漫画家・藤子不二雄^㉔先生のキャラクターモニュメント等が設置されています。



凡例	
	行政区域
	用途地域界
	都市機能誘導区域
	氷見駅から2km圏内
	重点エリア
	関連エリア
	氷見駅
	鉄道
●	観光施設
—	まんがロード

出典：国土数値情報、氷見市 HP

図 主要施設の立地状況（観光施設）（上：氷見駅 2km 圏内、下：対象エリア）

(5) 歩行空間の現状

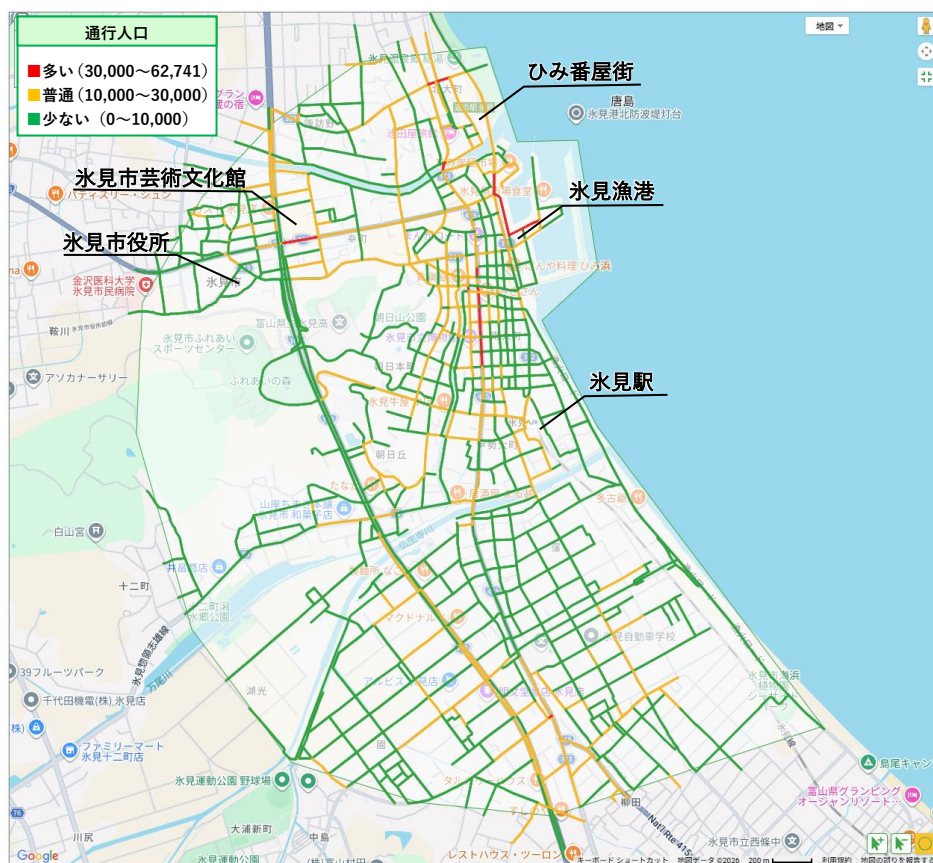
(ア) 歩行者通行量（2025 年 4 月 1 日～2026 年 3 月 31 日）

【氷見駅 2 km 圏内】

- ・ まんがロードや氷見市芸術文化館前を通る国道 415 号、氷見漁港前を通る県道（氷見港氷見停車場導線）に歩行者が集中しています。

【対象エリア】

- ・ まんがロードに歩行者が集中しています。
- ・ 市道については、まんがロード以西や南北方向に延びる道路に、比較的歩行者が集まる傾向があります。



出所：技研商事インターナショナル「KDDI Location Analyzer（国内居住者版）」

図 歩行者通行量（上：氷見駅 2km 圏内、下：対象エリア）

(イ)歩道幅員

【氷見駅 2 km圏内】

- ・歩行者の多い国道 415 号や、氷見漁港前を通る県道（氷見港氷見停車場導線）は、代表幅員が 2m 以上 3.5m 未満となっています。

【対象エリア】

- ・歩行者の多いまんがロードは、歩道の代表幅員が 2m 以上 3.5m 未満となっています。
- ・市道においては、2m 未満のものが多く、一部 3.5m 以上のものもあります。



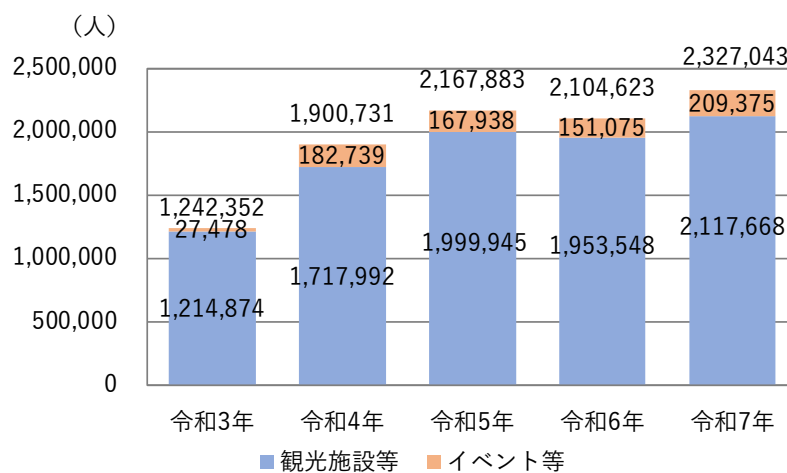
出典：令和 3 年度全国道路・街路交通情勢調査

図 歩道幅員（上：氷見駅 2km 圏内、下：対象エリア）

(6) 観光動態

(ア) 観光入込客数

- ・観光入込客数は、令和6年に一度減少しましたが、基本的に増加傾向にあります。
- ・内訳は、観光施設等を目的とする人数は増加傾向にある一方、イベント等を目的とする人数はコロナ禍や令和6年能登半島地震の影響等で、増減を繰り返しています。



出典：氷見市の統計

図 観光入込客数

(イ) 観光客の居住地

- ・本市を訪れた観光客の居住地（都道府県別）として、令和5年度～令和7年度にかけて富山県が最も多い割合を占めています。
- ・次いで石川県、東京都、愛知県となっています。

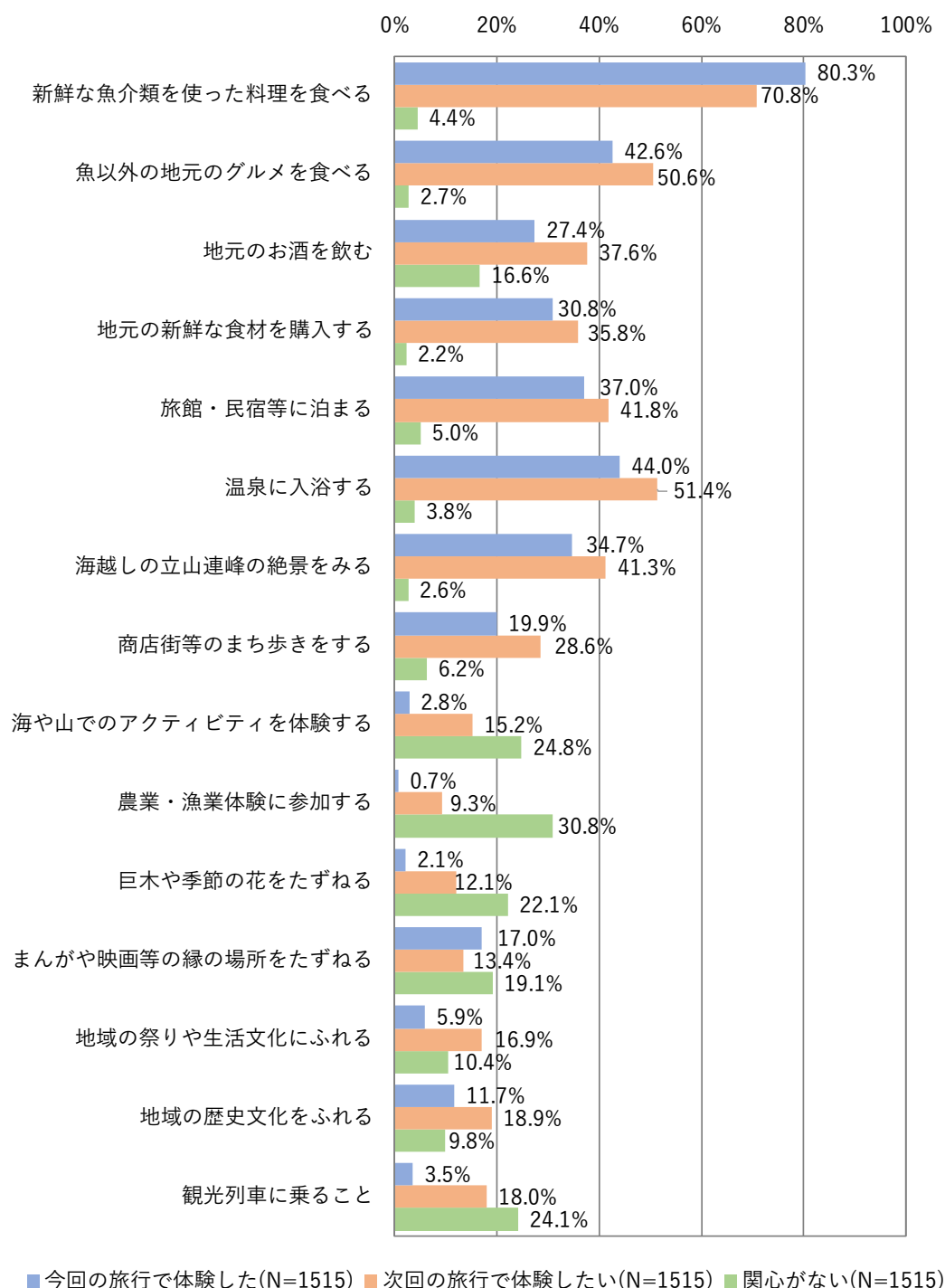
表 観光客の居住地（都道府県別）

順位	令和5年		令和6年		令和7年	
1位	富山県	34.0%	富山県	29.3%	富山県	28.0%
2位	石川県	9.5%	石川県	10.8%	石川県	10.8%
3位	東京都	8.0%	東京都	7.9%	東京都	9.2%
4位	愛知県	6.2%	愛知県	7.1%	愛知県	8.3%
5位	大阪府	5.6%	大阪府	5.9%	神奈川県	5.1%
6位	神奈川県	4.6%	神奈川県	5.1%	大阪府	4.9%
7位	長野県	4.0%	長野県	4.6%	長野県	3.7%
8位	岐阜県	3.5%	埼玉県	3.8%	岐阜県	3.5%
9位	埼玉県	3.3%	新潟県	3.4%	埼玉県	3.2%
10位	新潟県	3.1%	岐阜県	2.7%	兵庫県	2.7%

出典：氷見市観光客動向調査 2023・2024・2025

(ウ) 観光体験・関心

- ・観光客を対象としたアンケート調査の結果、食や温泉、景観等の資源について、体験した・したいという回答が多い結果となりました。
- ・一方、自然アクティビティや農漁業体験といった体験・交流型観光は、体験した・体験したい・関心ともに低い結果となっています。

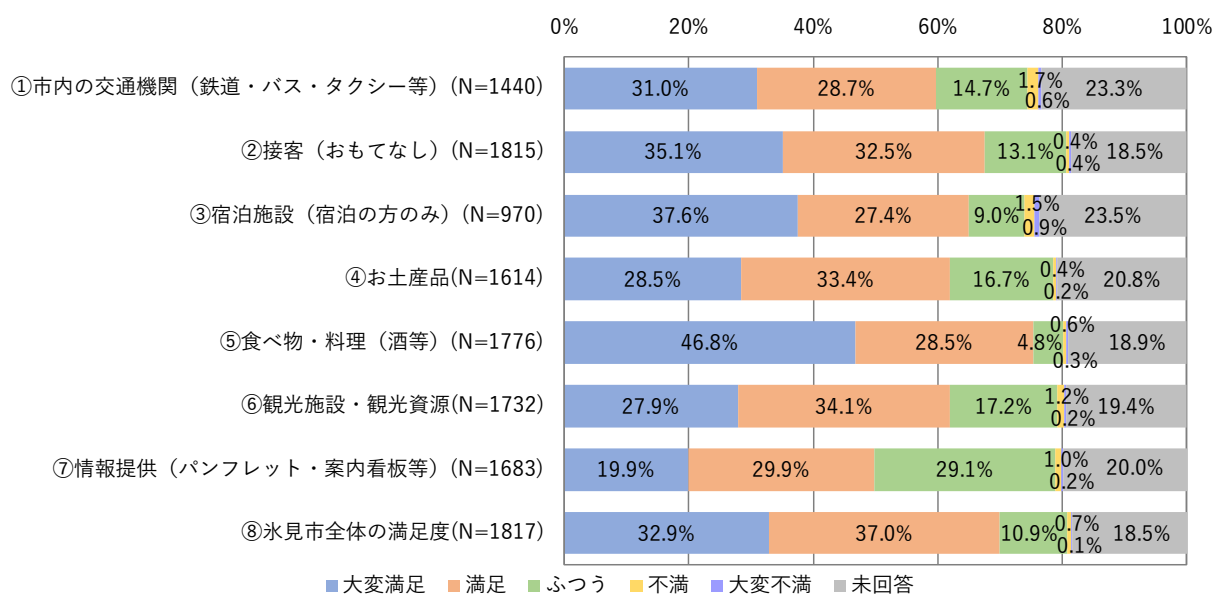


出典：氷見市資料（2025 年度観光地マーケティング調査業務委託）

図 今回の旅行で体験した・次回の旅行で体験したい・関心がない観光資源

(エ) 満足度

・観光客を対象としたアンケート調査の結果、食や接客、宿泊施設を中心に各分野で満足度が高い結果となりました。



出典：氷見市資料（2025 年度観光地マーケティング調査業務委託）

図 満足度

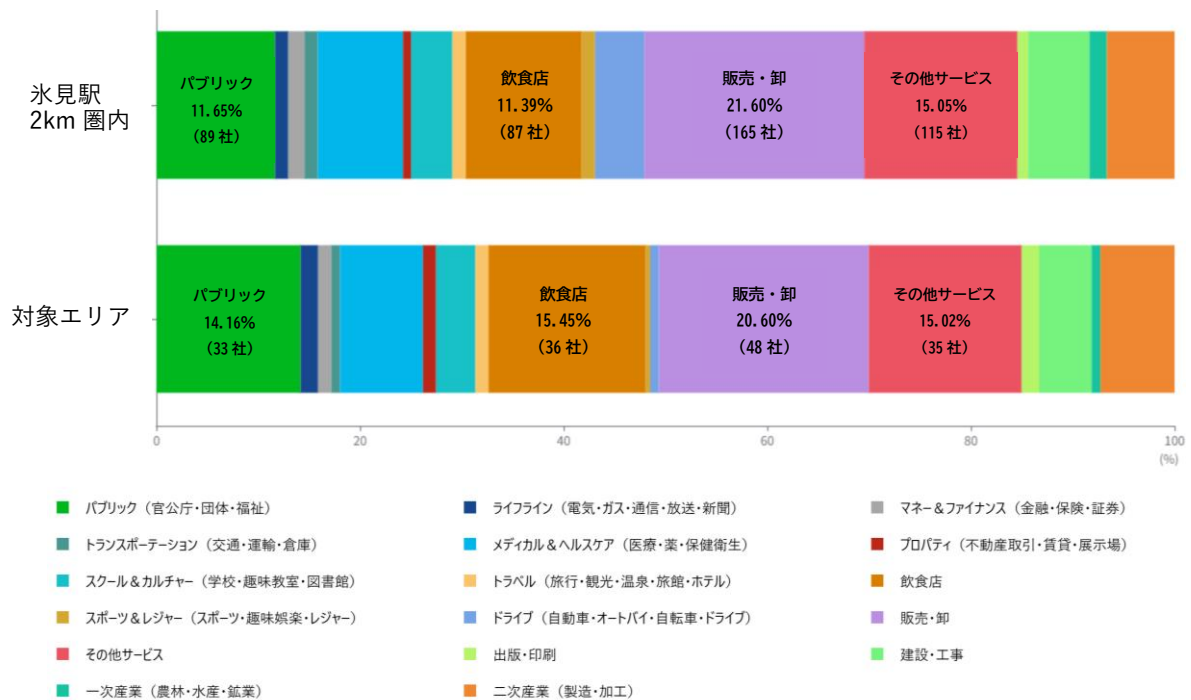
(7) 産業の動向

【氷見駅 2 km圏内】

・「販売・卸 (21.60%)」が最も多く、次いで、「その他サービス (理容・美容、クリーニング等) (15.05%)」、「パブリック (官公庁・団体・福祉) (11.65%)」「飲食店 (11.39%)」となります。

【対象エリア】

・「販売・卸 (20.60%)」が最も多く、次いで、「飲食店 (15.45%)」「その他サービス (理容・美容、専門サービス・専門職等) (15.02%)」「パブリック (官公庁・団体・福祉)」となります。



出典：RESAS（事業所立地分析）

図 産業割合 (2025 年)

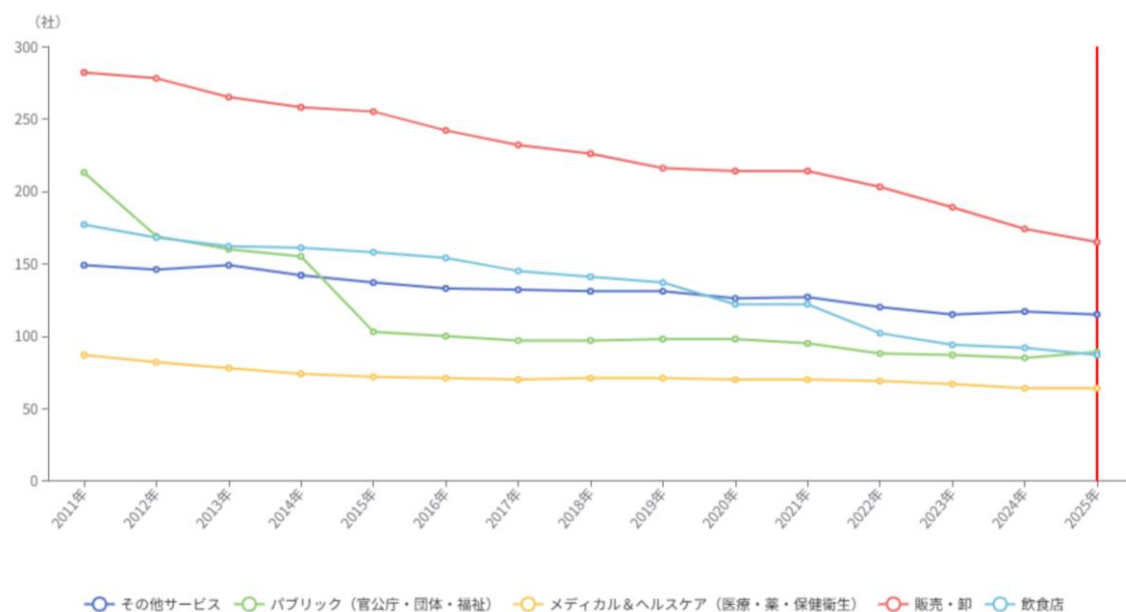
(イ) 産業別推移（事業所数上位 5 分野）

【氷見駅 2 km 圏内】

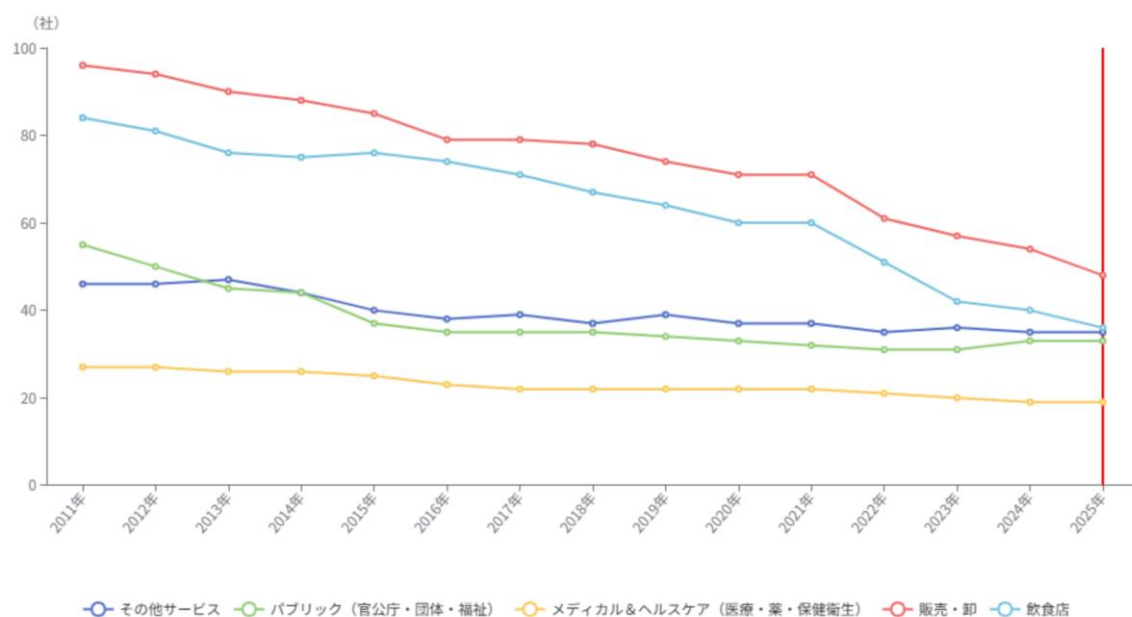
- ・事業所数の最も多い「販売・卸」は減少傾向にあります。
- ・その他の 4 分野は、横ばい傾向にあります。

【対象エリア】

- ・事業所数の最も多い「販売・卸」、次いで多い「飲食店」は減少傾向にあります。
- ・その他の 3 分野は、横ばい傾向にあります。



【氷見駅 2km 圏内】



【対象エリア】

出典：RESAS（事業所立地分析）

図 産業別推移（事業所数上位 5 分野）

(8) 災害

(ア) 災害リスク

【氷見駅 2 km 圏内】

- ・丘陵部に土砂災害特別警戒区域(レッドゾーン)や土砂災害警戒区域(イエローゾーン)が分布しています。
- ・国道 160 号以西は、立ち退き避難が必要となる浸水深 3m 以上の地域があります。

【対象エリア】

- ・富山湾に面する海岸線や河口部に、津波浸水想定区域が分布しています。
- ・河川周辺には洪水浸水想定区域が分布しています。

(イ) 指定緊急避難場所、指定避難所

【氷見駅 2 km 圏内】

- ・複数の指定緊急避難場所が存在しています。
- ・氷見市ふれあいスポーツセンター、氷見市立南部中学校、氷見市立朝日丘小学校、富山県立氷見高等学校、氷見市立比美乃江小学校、氷見市立窪小学校は指定避難所にも指定されており、被災者が一定期間生活するための施設として活用されます。

【対象エリア】

- ・複数の指定緊急避難場所が存在しますが、指定避難所はありません。

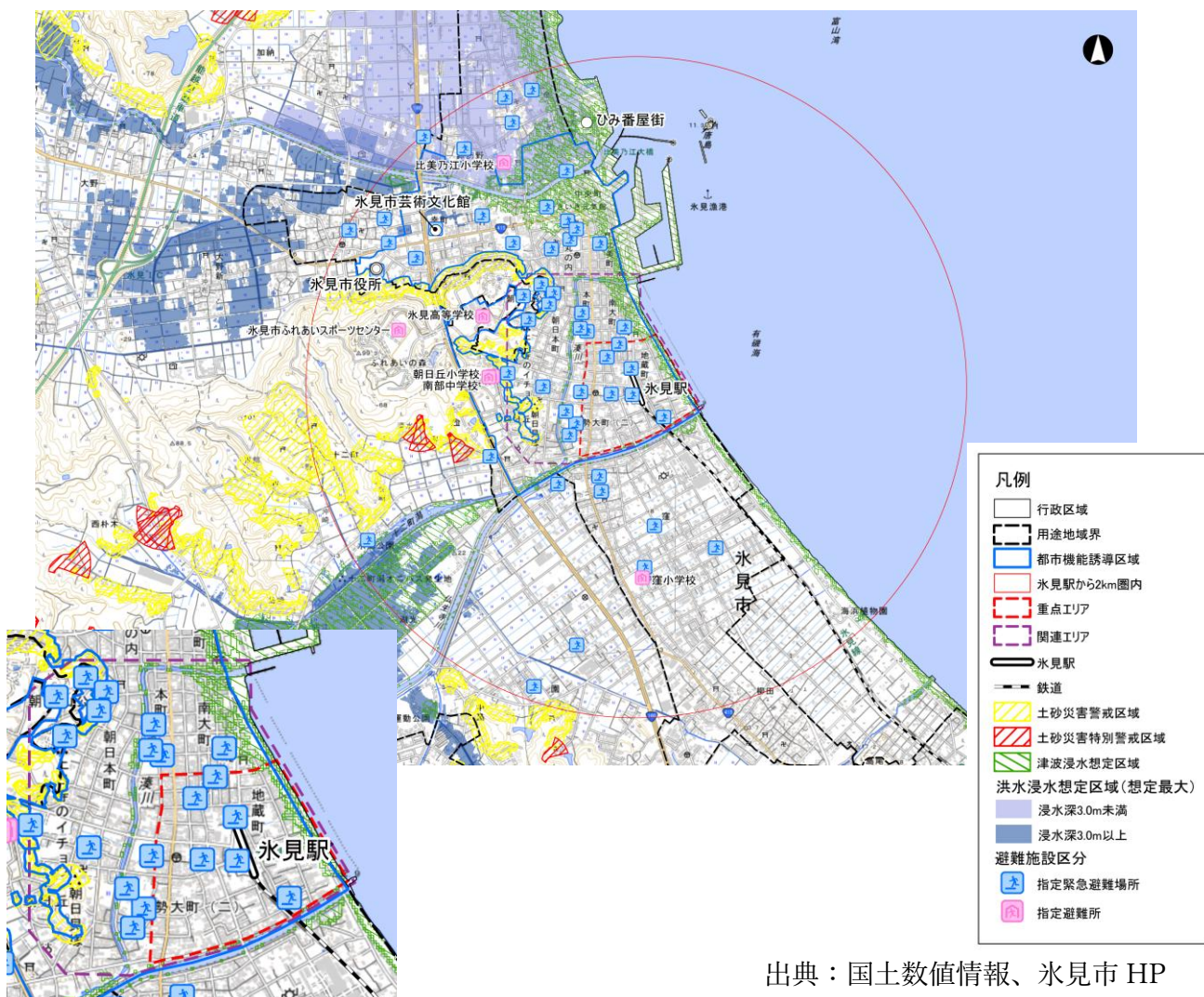


図 災害リスクと指定緊急避難場所及び指定避難所（上：氷見駅 2km 圏内、下：対象エリア）

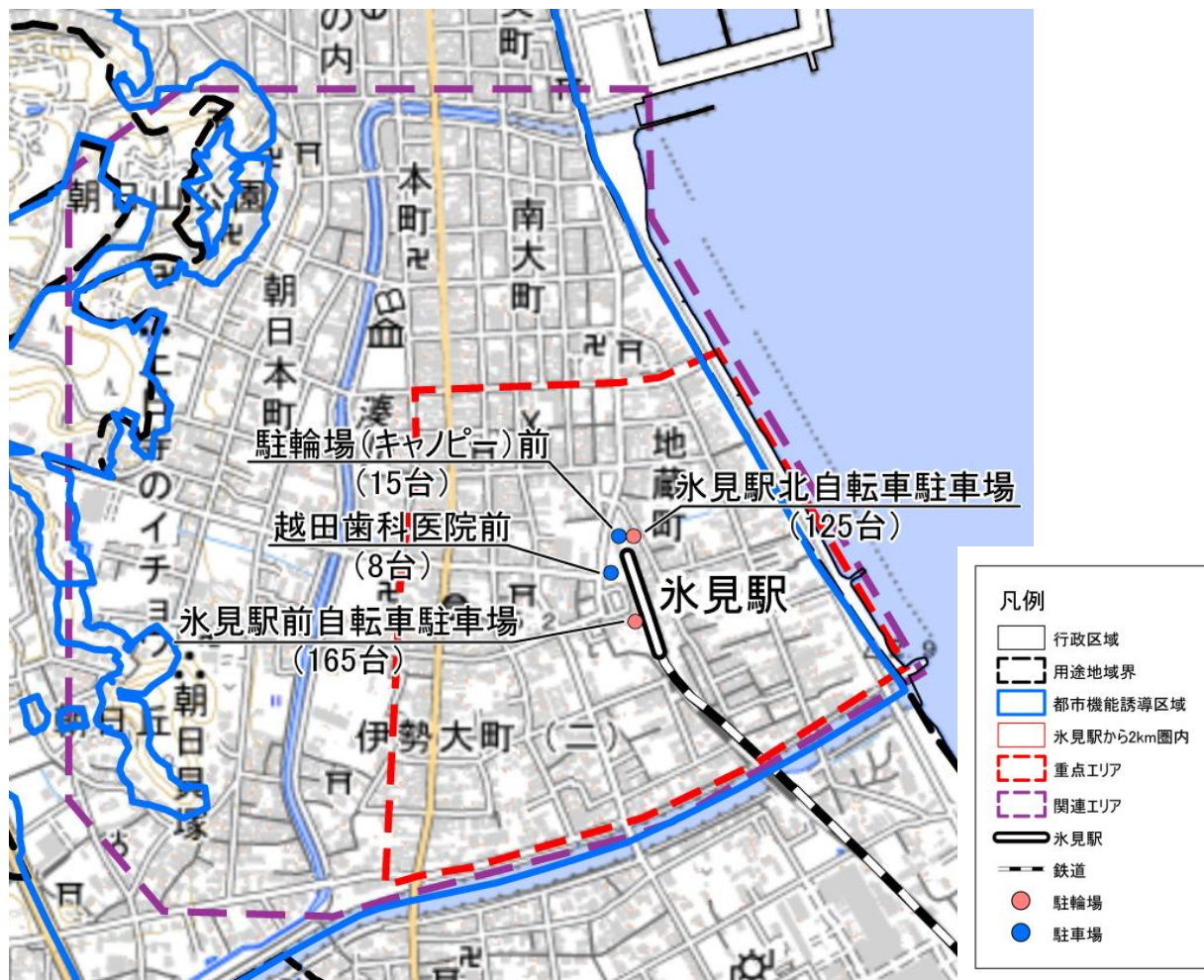
1-2 駅に隣接する施設・設備の利活用状況の整理

(1) 氷見駅周辺施設の整備状況・利活用実態

(ア) 駐車場・駐輪場の整備状況

【対象エリア】

・氷見駅に隣接する無料の駐車場・駐輪場がそれぞれ2箇所整備されています。

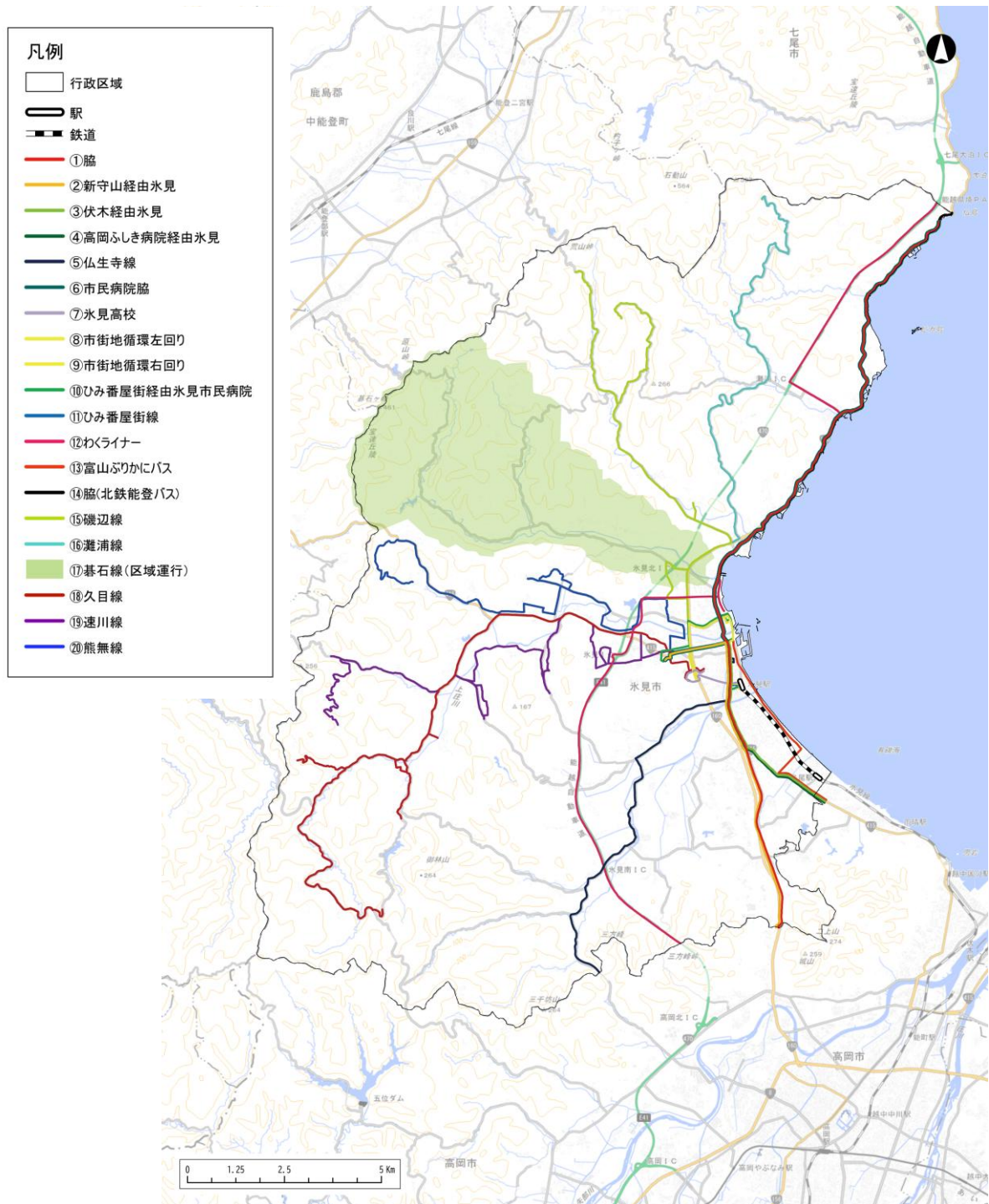


出典：氷見市資料

図 駐車場・駐輪場の整備状況（対象エリア）

(2) 氷見駅に接続する公共交通の利用状況

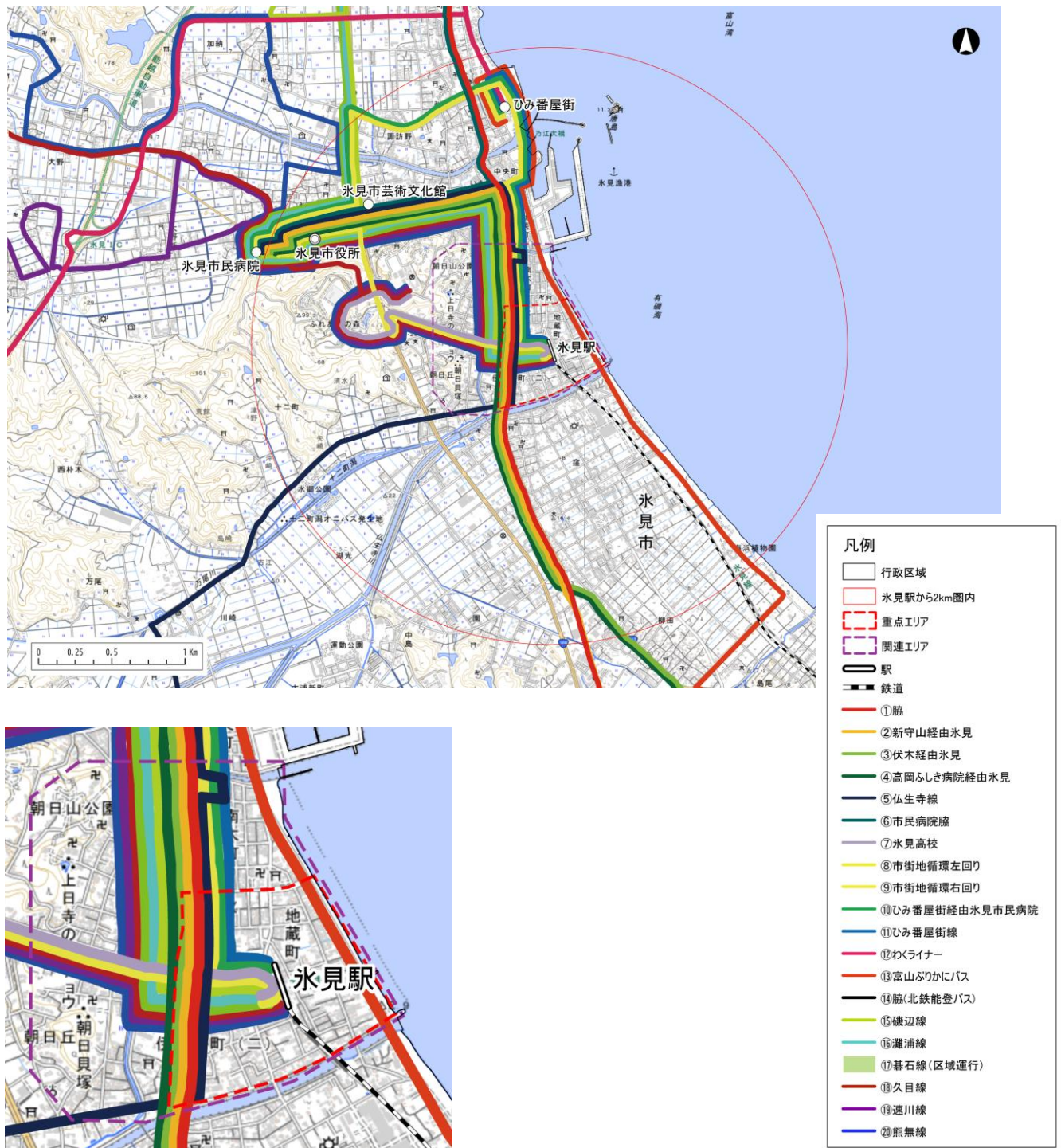
- ・市内の公共交通は、地域内・地域間の交流を支える移動システムとして、地域・交通事業者・行政がそれぞれの役割分担のもと、本市と他都市を結ぶ【鉄道・バス路線等】、中心市街地の利便性を高める【市街地周遊バス】、流域に広がる集落と市街地を結ぶ【NPO バス】、鉄道やバスの交通利用圏域すべてをカバーする【タクシー】等、様々な交通機関で構築された公共交通網となっています。
- ・特に、【NPO バス】は 7 つの流域の谷筋に形成された集落生活圏と市街地を結ぶ重要な公共交通ですが、隣り合う路線との山を越えた連携が困難であるため、山地部の集落・生活圏を周遊するルート of の構築ができない状況です。



出典：氷見市 HP、事業者 HP

図 公共交通網（市全域）

- ・氷見駅やひみ番屋街、氷見市民病院が、各種交通機関の乗り換え・乗り継ぎや交流の核となる交通結節点として利用されています。



出典：氷見市 HP、事業者 HP

図 公共交通網（上：氷見駅 2km 圏内、下：対象エリア）

表 市内の公共交通

路線名		運行区間	便数/日			運賃
			平日	土曜	日祝	
鉄道						
	JR 氷見線	高岡－氷見	35	35	35	対距離 運賃
路線バス（①～⑦：加越能バス株式会社、⑭：北陸鉄道株式会社）						
①	脇	高岡駅前－新守山－脇	20 便	16 便	16 便	対距離 運賃
②	新守山経由氷見	高岡駅前－新守山・氷見駅口－氷見市民病院	30 便	26 便	26 便	
③	伏木経由氷見	高岡駅前－伏木駅前・氷見駅口－氷見市民病院	10 便	12 便	12 便	
④	高岡ふしき病院経由氷見	高岡駅前－ふしき病院・氷見駅口－氷見市民病院	7 便	6 便	6 便	
⑤	仏生寺	高岡駅前－仏生寺・氷見駅口－氷見市民病院	14 便	10 便	10 便	
⑥	氷見市民病院脇	氷見市民病院－氷見中央－脇	1 便	—	—	200 円
⑦	氷見高校	氷見駅前－氷見駅口－氷見高校前	1 便	—	—	
⑭	脇(北鉄能登バス)	七尾駅－百海－脇	10 便	8 便	8 便	対距離 運賃
市街地周遊バス（加越能バス株式会社）						
⑧	市街地循環左回り	氷見市民病院－氷見駅前－氷見市民病院	5 便	4 便	—	100 円
⑨	市街地循環右回り	氷見市民病院－氷見駅前－氷見市民病院	5 便	1 便	—	100 円
⑩	ひみ番屋街経由 氷見市民病院	氷見駅前－氷見中央－氷見市民病院	2 便	3 便	—	100 円
⑪	ひみ番屋街	氷見駅前－氷見中央－ひみ番屋街	—	8 便	15 便	100 円
特急バス・観光バス（⑫：加越能バス株式会社、⑬：富山地方鉄道株式会社）						
⑫	わくライナー	高岡駅前－新高岡駅・ひみ番屋街－和倉温泉	4 便 ^{※1}	4 便	4 便	対距離 運賃
⑬	富山ぶりにバス	富山駅前－新湊きっときと市場－ひみ番屋街	6 便 ^{※2}	6 便 ^{※2}	6 便 ^{※2}	対距離 運賃
NPO バス						
⑮	磯辺線「ますがた」	小滝－氷見駅前	10 便	6 便	6 便 ^{※3}	年会費
⑯	灘浦線「なだら」	平－氷見駅前	4 便	4 便	—	対距離
⑰	碁石線「やまびこ」	余川谷地域の区域から区域外指定停留所	デマンド運行			年会費 定期券
⑱	久目線「くめバス」	赤毛－氷見駅前・氷見高校前	7 便	4 便	—	年会費
⑲	速川線「はやかわバス」	葛葉－氷見駅前・氷見高校前	7 便	4 便	—	定期券
⑳	熊無線「くまなしバス」	下論田－氷見駅前・氷見高校前	7 便	4 便	—	※回数 券も有

※1：⑫わくライナーの平日運行は、運行カレンダーによる（連休・盆・年末年始のみ）

※2：⑬ぶりにバスは、運行カレンダーによる（10月～3月の特定日）

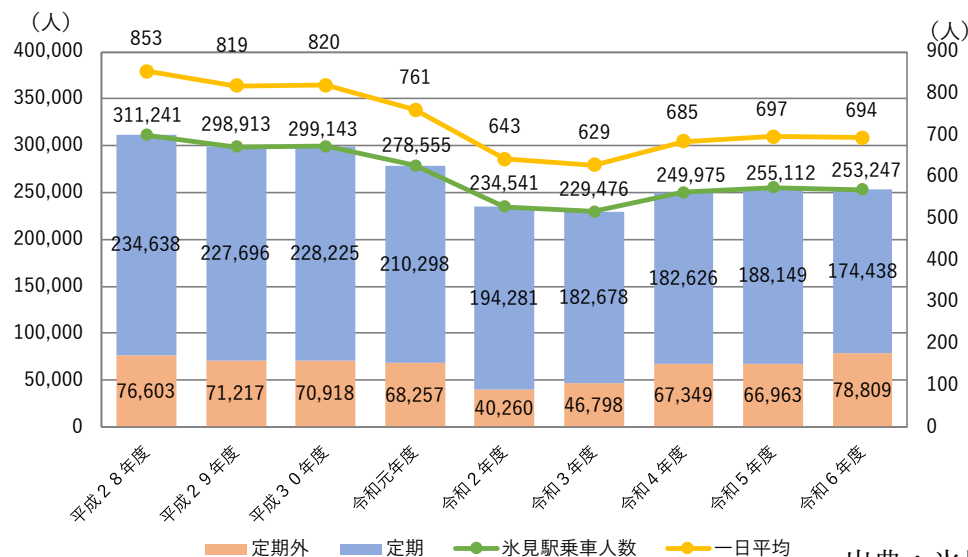
※3：⑮磯辺線は、日曜日、正月の2日、3日、お盆の15日、16日は運休

出典：事業者 HP（2026年5月現在）

(ア) 利用者数の推移

① 鉄道 JR 氷見線（氷見駅乗車人数）

- ・JR 氷見線（氷見駅～高岡駅）が氷見駅を始発・終着駅で運行しています。
- ・氷見駅乗車人数は、新型コロナウイルス感染症流行以前から減少傾向にありました。令和3年度から令和4年度にかけて乗車人数は増加しましたが、新型コロナウイルス感染症流行前より低い数値となっています。
- ・氷見駅利用者の約7割が定期による利用です。

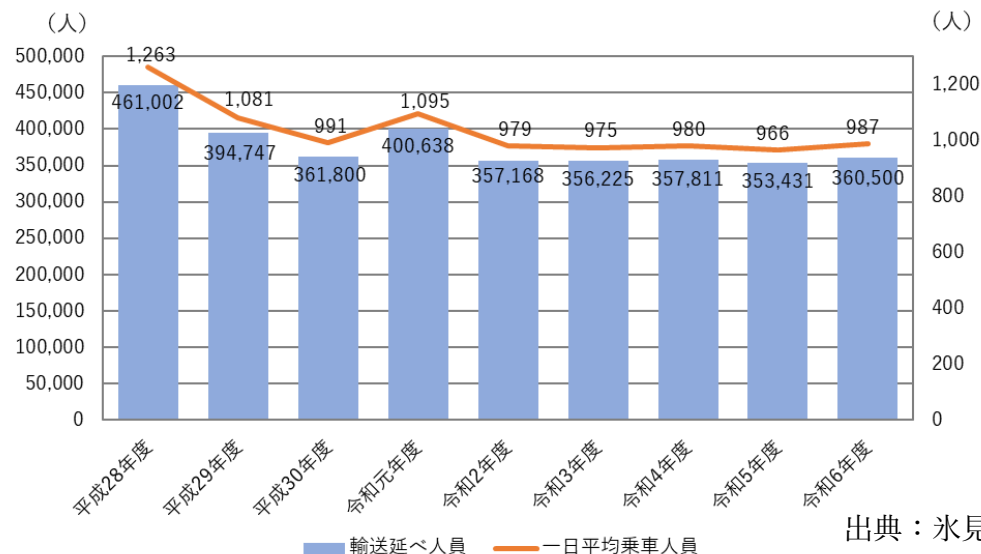


出典：氷見市の統計

図 氷見駅乗車人数及び定期利用者の推移

② 路線バス等

- ・加越能バス株式会社及び北陸鉄道株式会社が運行する路線バスが運行されており、国の地域間幹線系統補助路線として維持されています。
- ・路線バスの他には、加越能バス及び富山地方鉄道株式会社により特急バス・観光バスが定期的に運行されています。
- ・加越能バスの利用者数は、平成29～30年にかけて減少し、近年は年間利用者数及び一日平均乗車人員ともに横ばい傾向にあります。

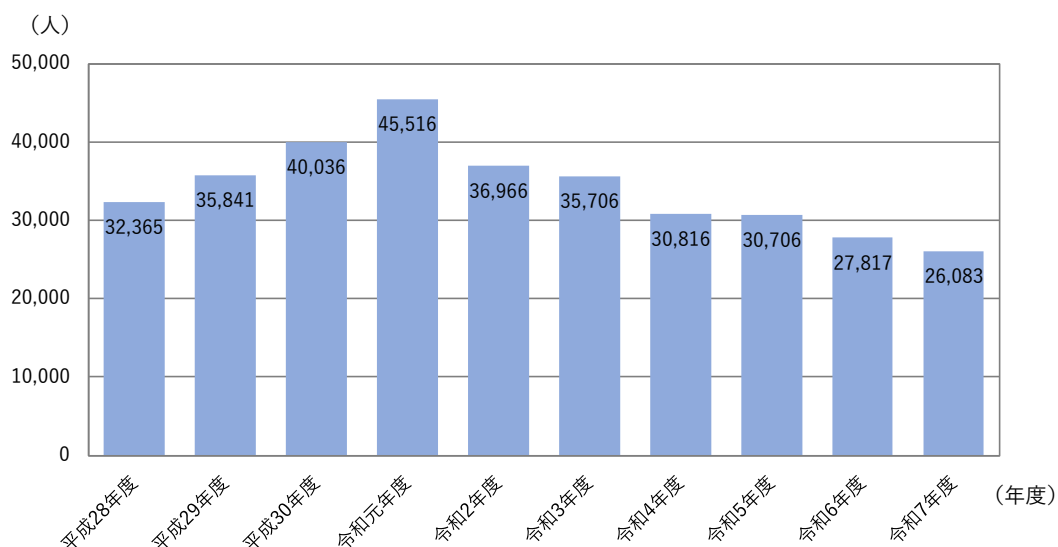


出典：氷見市の統計

図 加越能バス（氷見営業所管内）利用者数の推移及び1日平均乗車人員の推移

③ NPO バス

- ・ NPO バスは、市内の八代地域、余川谷地域、灘浦地域及び久目地域の山間部を縫うように、地元有志で結成された特定非営利活動法人（NPO 法人）により、それぞれの地域から JR 氷見駅周辺までを結ぶ 6 系統が運行されています。
- ・ これらの地域では、他の交通機関による移動手段の確保が著しく困難であることから、道路運送法第 78 条に基づく自家用車有償旅客運送（交通空白地有償運送）の形態を採ってバスを運行しています。
- ・ 自家用車有償旅客運送制度を活用したバスであるため、バスの利用は運行する NPO 法人の会員のみです。
- ・ 運賃は会員制を導入し、各協議会で費用が異なります。
- ・ 利用者数は、新型コロナウイルス感染症流行以降は減少傾向にあります。

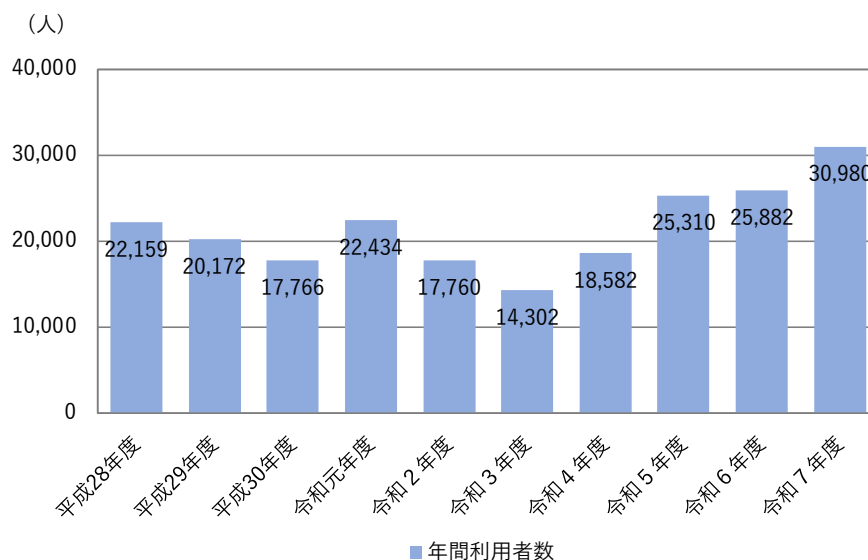


出典：氷見市資料

図 NPO バス利用者数の推移

④ 市街地周遊バス

- ・市街地周遊バスは加越能バス株式会社により運行されており、国のフィーダー系統補助路線として維持されています。
- ・氷見市街地周遊バスの運行により、中心市街地に点在する日常生活に必要な公共施設や商業施設等を周遊し、市街地周辺の住民や観光客の交通手段を確保・維持するとともに、JR 氷見線、地域間幹線系統バス、NPO バスと接続することで、市民の公共交通の利便性の向上が図られています。
- ・氷見市街地周遊バスは、城端線・氷見線沿線地域公共交通計画において、JR 氷見線と接続するバス路線に位置づけられており、JR 氷見線との連携を強化することで、持続可能な公共交通網の形成に寄与するものとされています。
- ・バスの車体には藤子不二雄^①先生のキャラクターをラッピングしており、公共交通の活性化と、観光面での漫画のまちづくりの象徴的存在としての役割を担っています。
- ・利用者数は、新型コロナウイルス感染症の影響もあり減少傾向でしたが、近年は増加傾向になっています。



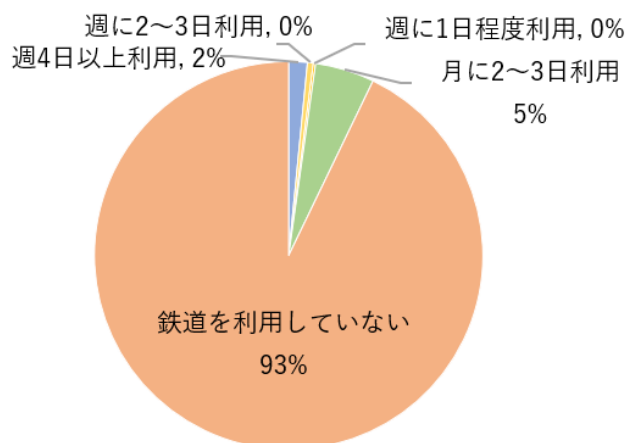
出典：氷見市資料

図 氷見市街地周遊バス利用者数の推移

(イ) 利用実態と利用者の意向（アンケート調査）

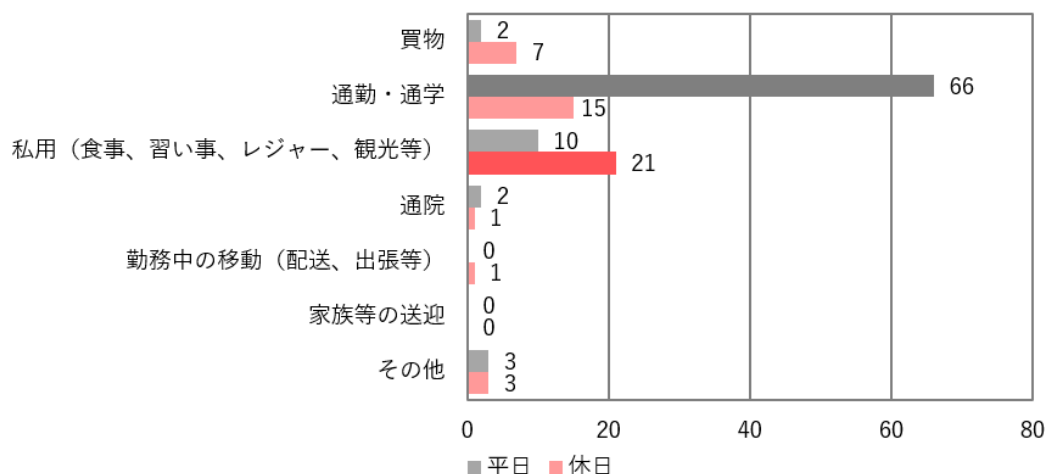
① 鉄道（JR 氷見線）

- ・氷見市民を対象としたアンケート調査の結果、回答者の利用頻度として「鉄道を利用していない」が93%で最多、次いで「月に2～3日間」が5%でした。
- ・鉄道利用者（JR 氷見駅、島尾駅）を対象としたアンケート調査の結果、利用目的は、平日「通勤・通学」、土日祝日「私用（食事、習い事、レジャー、観光等）」がそれぞれ最多となっています。
- ・鉄道の満足度として、平日・土日祝日ともに「運行本数」「運行時間帯」に対して満足（やや満足＋満足）の回答が多くなっています。
- ・一方、「時刻表どおりの運行」や「時刻表や案内のわかりやすさ」に対する満足度は低くなっています。



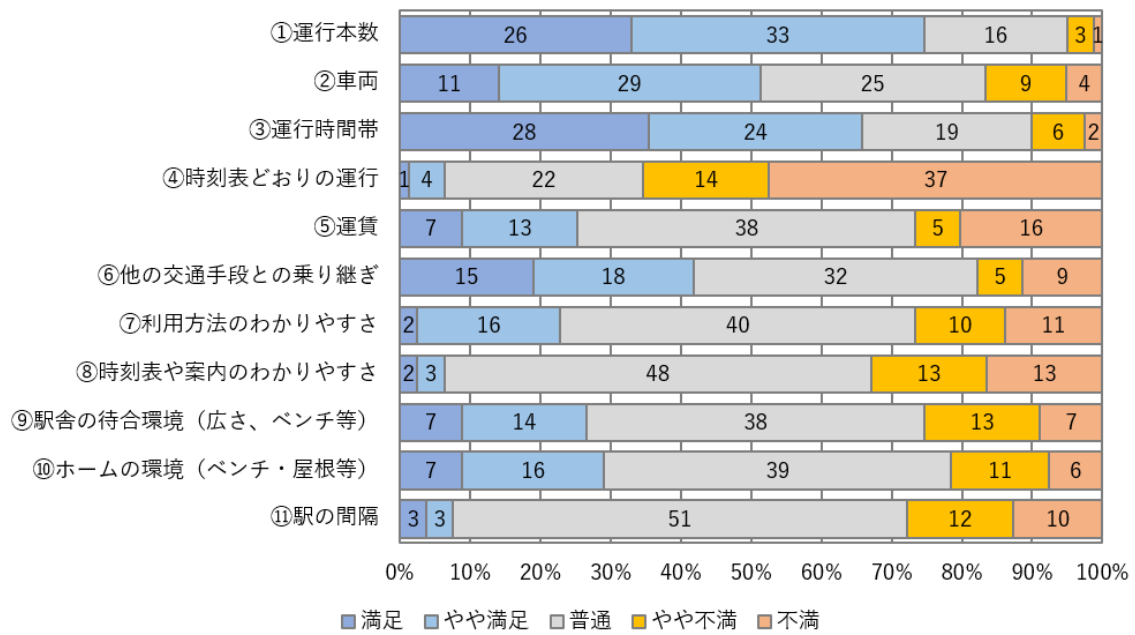
出典：氷見市地域公共交通計画

図 鉄道の利用頻度（令和4年度市民アンケート）

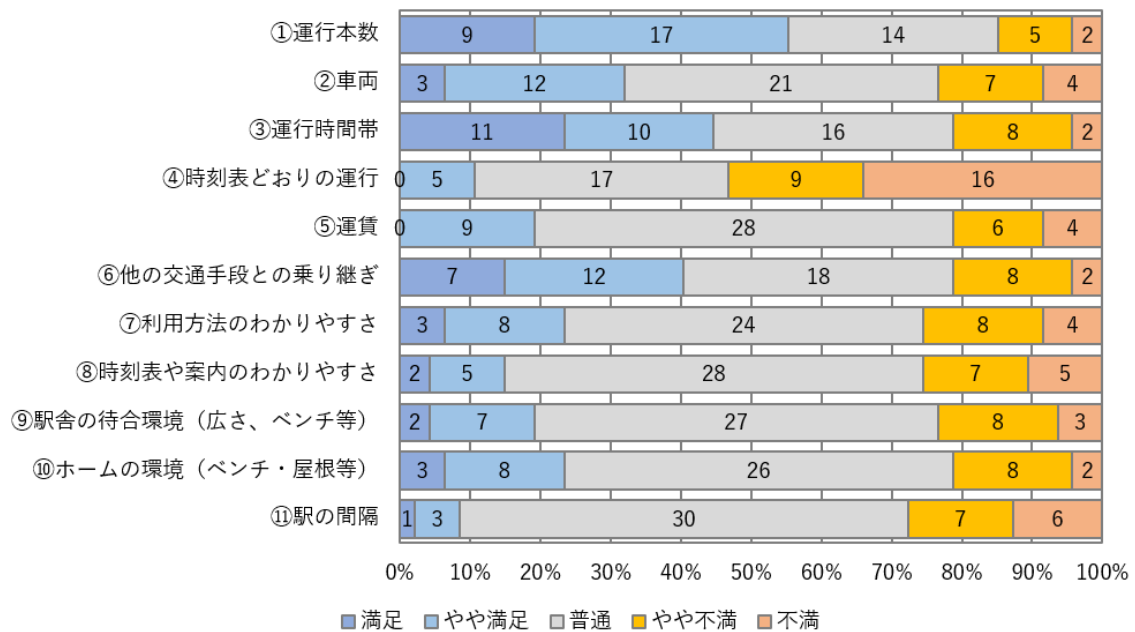


出典：氷見市地域公共交通計画

図 鉄道の利用目的（令和4年度利用者アンケート）



【平日】



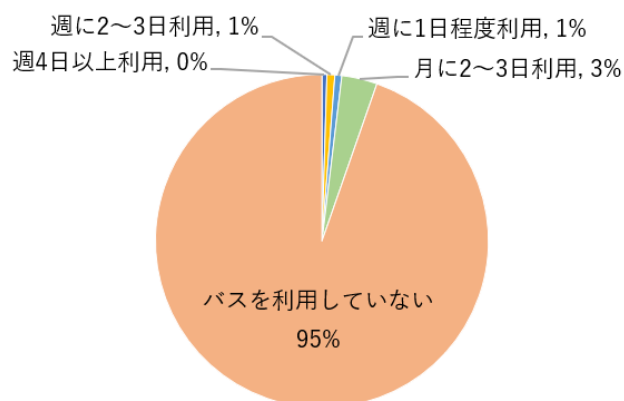
【休日】

出典：氷見市地域公共交通計画

図 鉄道の満足度（令和4年度利用者アンケート）

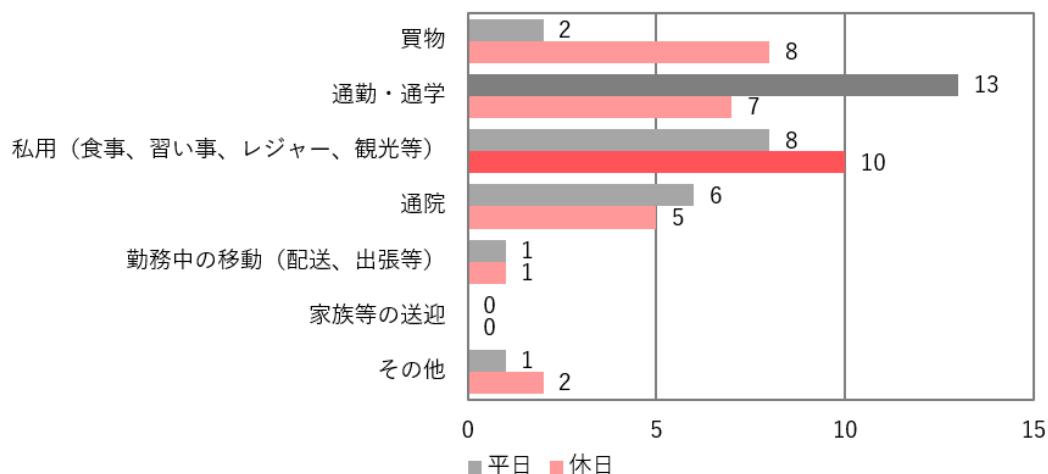
② 路線バス

- ・氷見市民を対象としたアンケート調査の結果、回答者の利用頻度として「バスを利用していない」が95%で最多、次いで「月に2～3日間」が3%でした。
- ・路線バス利用者を対象としたアンケート調査の結果、利用目的は平日「通勤・通学」、土日祝日「私用（食事、習い事、レジャー、観光等）」がそれぞれ最多となっています。
- ・また、路線バスの満足度として、平日・土日祝日ともに「運行本数」「運行時間帯」「待合環境（バス停のベンチ・屋根等）」に対して満足（やや満足＋満足）の回答が多くなっています。
- ・一方、「バス停の位置」や「バス停の間隔」に対する満足度は低くなっています。



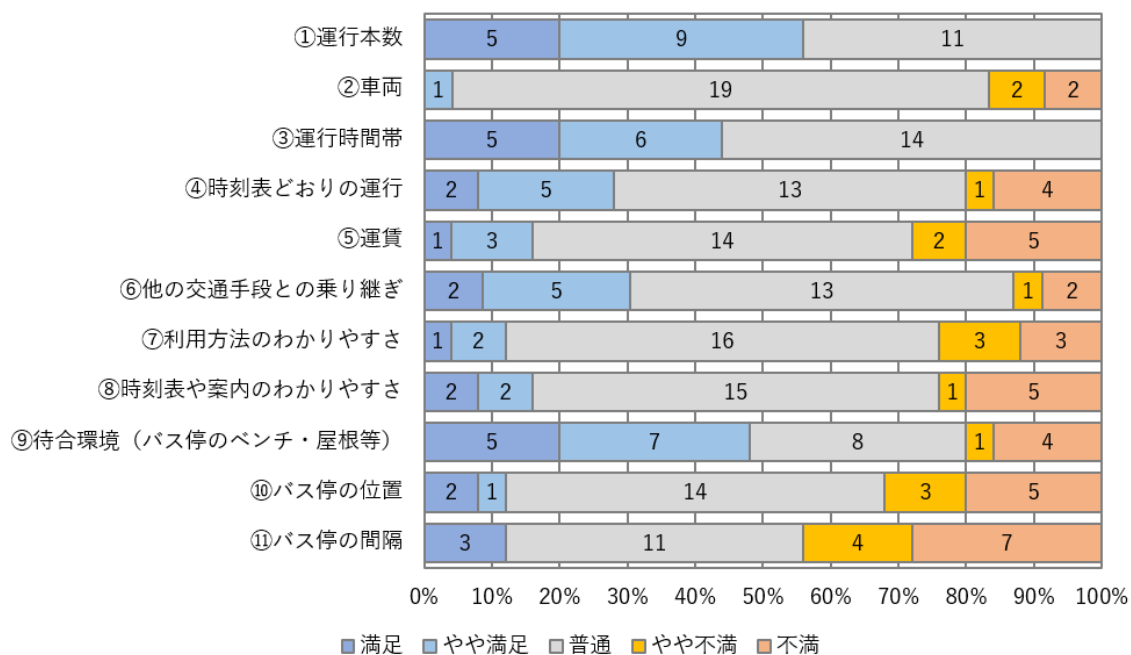
出典：氷見市地域公共交通計画

図 路線バスの利用頻度（令和4年度市民アンケート）

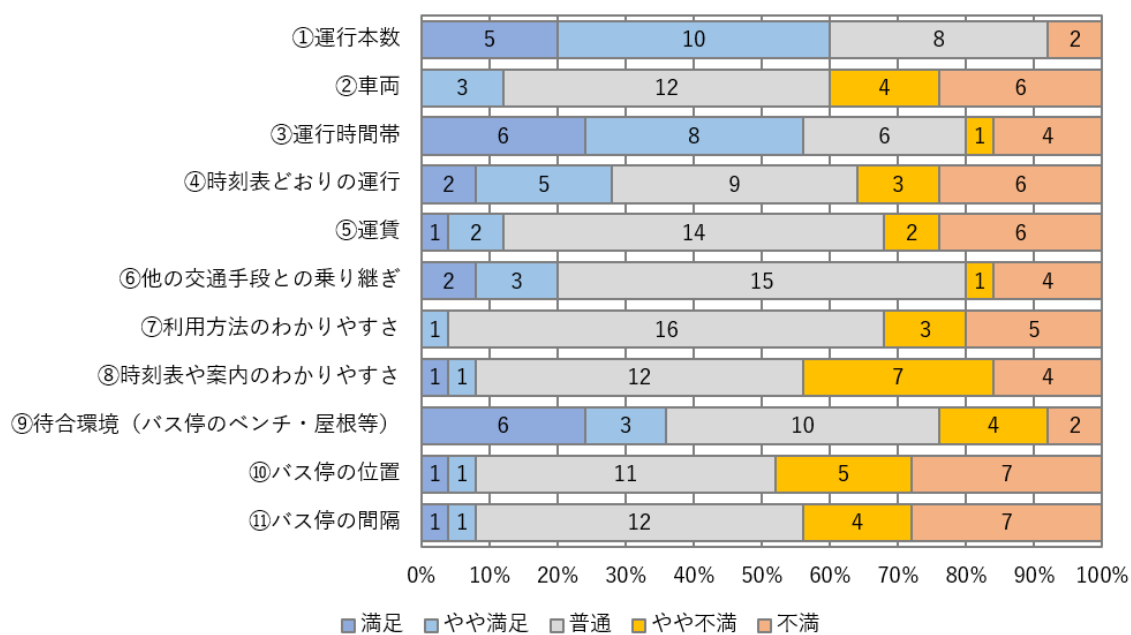


出典：氷見市地域公共交通計画

図 路線バスの利用目的（令和4年度利用者アンケート）



【平日】



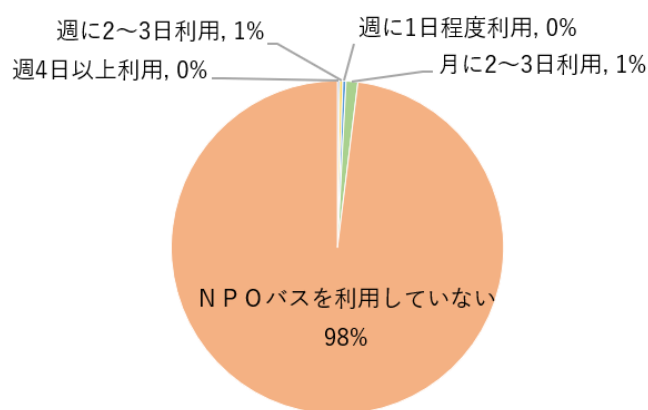
【休日】

出典：氷見市地域公共交通計画

図 路線バスの満足度（令和4年度利用者アンケート）

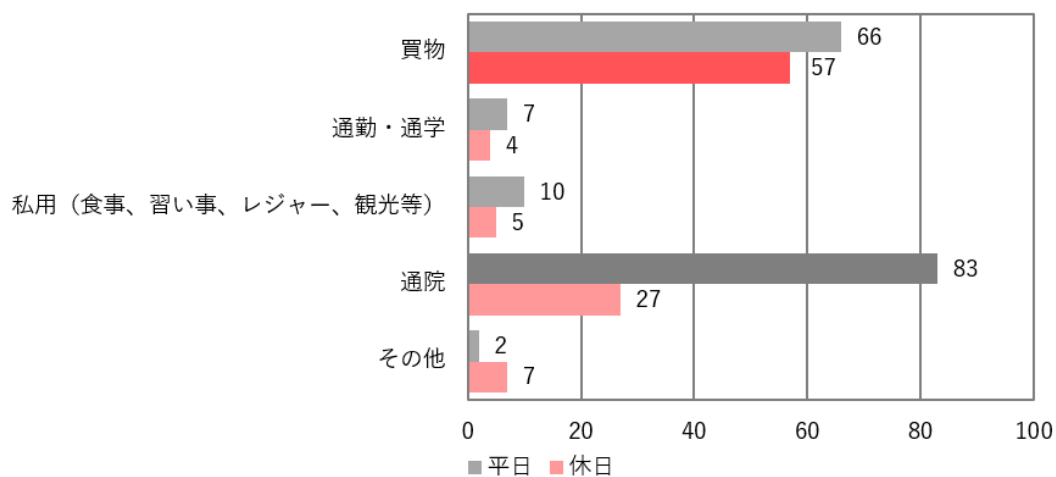
③ NPO バス

- ・氷見市民を対象としたアンケート調査の結果、回答者の利用頻度として「NPO バスを利用していない」が 98%で最多、次いで「月に 2～3 日間」「週に 2～3 日間」が 1%でした。
- ・NPO バス利用者を対象としたアンケート調査の結果、利用目的は平日「通院」、土日祝日「買い物」がそれぞれ最多となっています。
- ・NPO バスの満足度として、「待合環境（バス停のベンチ・屋根等）」に対して満足（やや満足＋満足）の回答が多くなっていますが、その他の全項目で満足度は低くなっています。
- ・特に、「車両」「時刻表どおりの運行」「バス停の位置」に対する不満度が高くなっています。



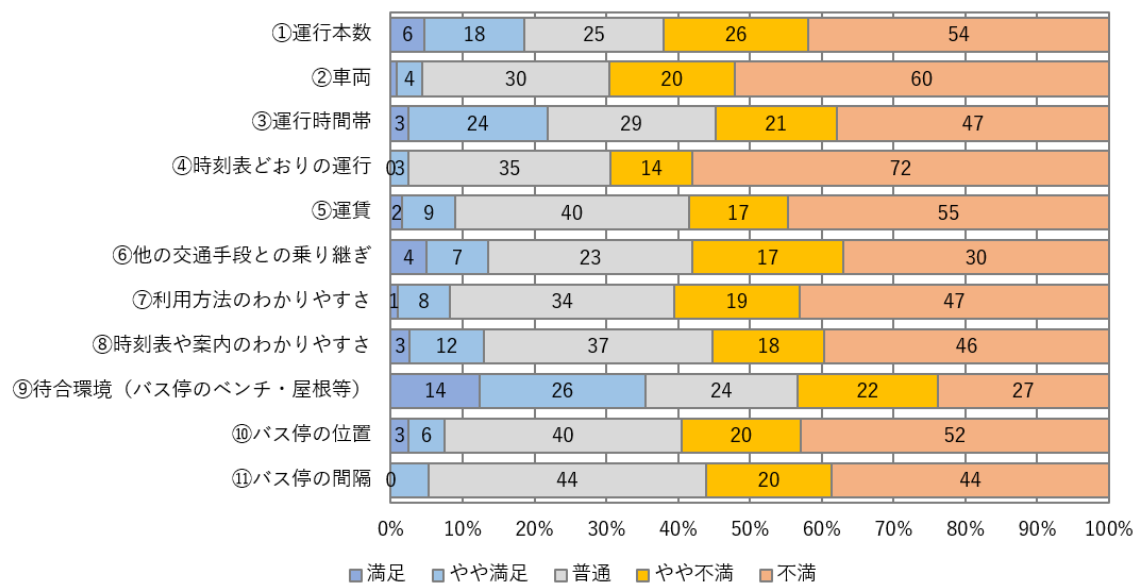
出典：氷見市地域公共交通計画

図 NPO バスの利用頻度（令和 4 年度市民アンケート）

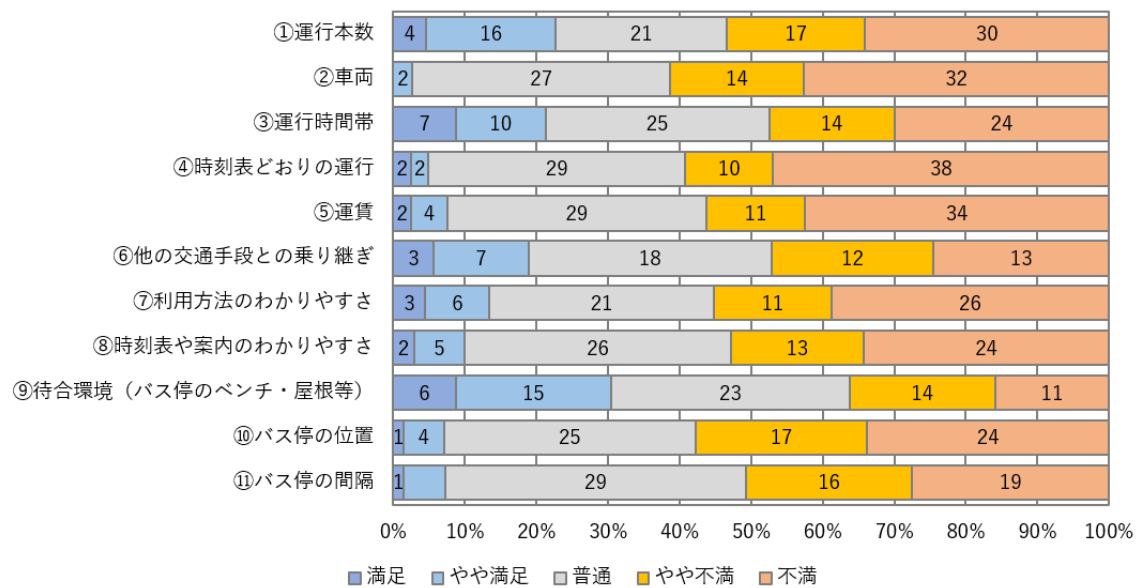


出典：氷見市地域公共交通計画

図 NPO バスの利用目的（令和 4 年度利用者アンケート）



【平日】



【休日】

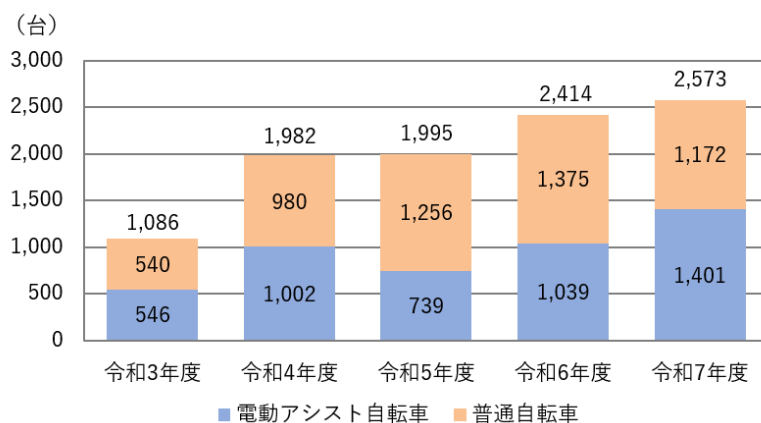
出典：氷見市地域公共交通計画

図 NPO バスの満足度（令和 4 年度利用者アンケート）

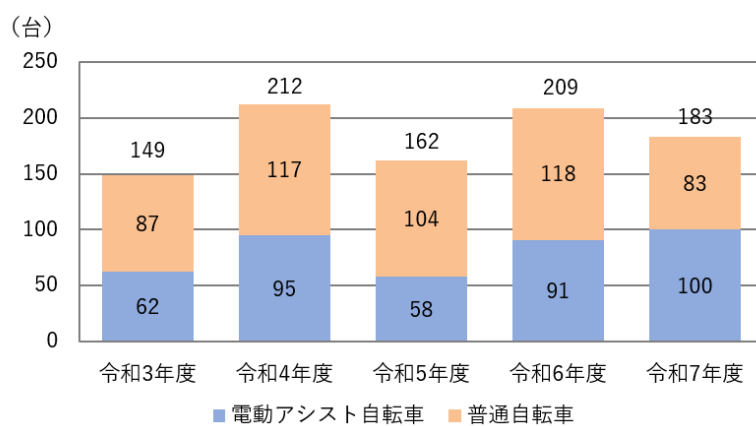
(ウ) 二次交通の利用実態

① レンタサイクル

- ・氷見市観光協会により、氷見駅及びひみ番屋街にて、レンタサイクル（電動アシスト自転車、普通自転車）の貸し出しを行っています。
- ・悪天候の場合や冬期期間中（例年 12 月中旬から 3 月中旬）においては、貸し出しを休止しています。
- ・氷見駅においては、レンタサイクルの利用台数は増加傾向にあります。一方、ひみ番屋街においては増減を繰り返しています。



【氷見駅】



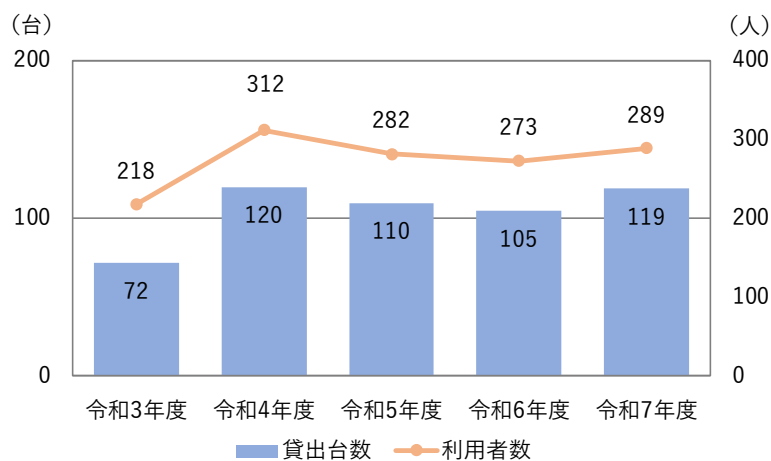
【ひみ番屋街】

出典：氷見市資料

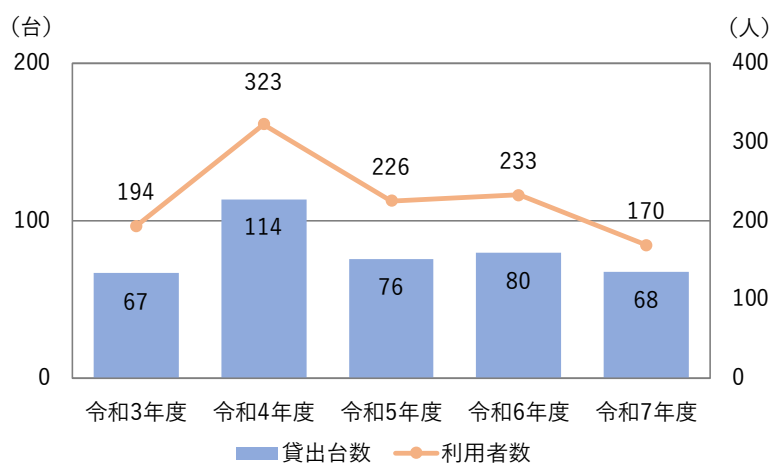
図 レンタサイクルの利用台数推移（上：氷見駅、下：ひみ番屋街）

② まちなか回遊促進モビリティ ヒミカ

- ・氷見市観光協会により、氷見駅及びひみ番屋街にて、まちなか回遊を目的とした4人乗り電気自動車「ヒミカ」の貸し出しを行っています。
- ・なお、悪天候の場合や冬期期間中（例年12月から3月上旬）においては、貸し出しを休止しています。
- ・氷見駅においては、貸し出し台数・利用者数ともに横ばいとなっています。一方、ひみ番屋街においては減少傾向にあります。



【氷見駅】



【ひみ番屋街】

出典：氷見市資料

図 ヒミカの利用状況（上：氷見駅、下：ひみ番屋街）

(3) 氷見駅周辺における移動・滞留実態

(ア) 移動経路（2025 年 4 月 1 日～2026 年 3 月 31 日）

① 居住者・勤務者

- ・徒歩の移動については、上り方向（氷見駅に向かう方向）・下り方向（氷見駅から離れる方向）のどちらも、まんがロードを通過する移動が多くなっています。特に、対象エリアの北側からの流入、北側への流出が多くなっています。
- ・自動車の移動については、上り方向・下り方向のどちらも、国道 415 号を通過する移動が多くなっています。特に、対象エリアの南側からの流入、南側への流出が多くなっています。



【徒歩（氷見駅に向かう方向）】



【徒歩（氷見駅から離れる方向）】



【自動車（氷見駅に向かう方向）】



【自動車（氷見駅から離れる方向）】

出所：技研商事インターナショナル「KDDI Location Analyzer（国内居住者版）」

図 居住者・勤務者の移動経路（対象エリア）（上：徒歩、下：自動車）

② 来訪者

- ・徒歩の移動については、上り方向（氷見駅に向かう方向）・下り方向（氷見駅から離れる方向）のどちらも、まんがロードを通過する移動が多くなっています。特に、対象エリアの北側からの流入、北側への流出が多くなっています。
- ・自動車の移動については、上り方向・下り方向のどちらも、国道415号を通過する移動が多くなっています。居住者・勤務者とは異なり、対象エリアの南北両側の流入・流出が多くなっています。
- ・居住者・勤務者と比較して、徒歩の移動は少ないですが、自動車の移動は非常に多くなっています。



【徒歩（氷見駅に向かう方向）】



【徒歩（氷見駅から離れる方向）】



【自動車（氷見駅に向かう方向）】



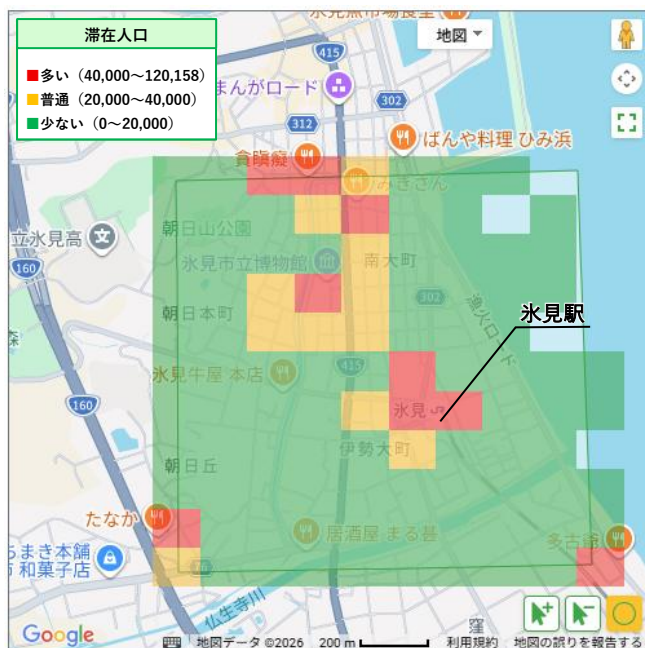
【自動車（氷見駅から離れる方向）】

出所：技研商事インターナショナル「KDDI Location Analyzer（国内居住者版）」

図 来訪者の移動経路（対象エリア）（上：徒歩、下：自動車）

(イ) 来訪者の滞留分布 (2025 年 4 月 1 日～2026 年 3 月 31 日)

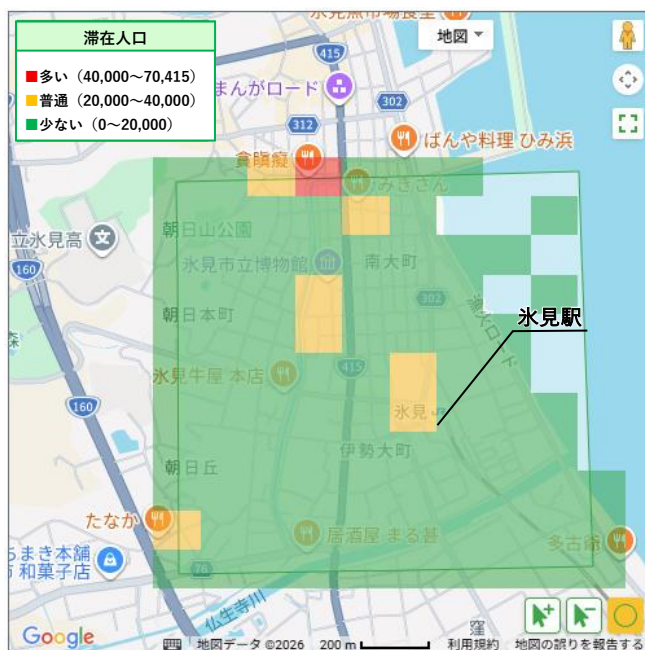
- ・観光施設や飲食店が立地するまんがロードの周辺や氷見駅付近に滞留する傾向がありますが、30 分以上の滞留は少ないです。



【15 分以上滞在】



【30 分以上滞在】



【60 分以上滞在】

出所：技研商事インターナショナル「KDDI Location Analyzer (国内居住者版)」

図 来訪者の滞留分布 (対象エリア)